

日枝中学校 E L V 棟増築工事（機械）

図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
M- 001	機械設備工事特記仕様書	M- 016	現況 1 階平面図（衛生・消火設備）- 2（参考）
M- 002	付近見取図	M- 017	エレベーター詳細図（ 1 ）
M- 003	仮設計画図	M- 018	エレベーター詳細図（ 2 ）
M- 004	配置図（衛生設備）	M- 019	エレベーター詳細図（ 3 ）
M- 005	1 階平面図（衛生設備）	M- 020	エレベーター詳細図（ 4 ）
M- 006	2 階平面図（衛生設備）	M- 021	エレベーター詳細図（ 5 ）
M- 007	3 階平面図（衛生設備）	M- 022	エレベーター詳細図（ 6 ）
M- 008	4 階平面図（衛生設備）	M- 023	エレベーター詳細図（ 7 ）
M- 009	1 階多目的・職員 WC ・屋内運動場 WC ・衛生機器一覧表（衛生設備）	M- 024	エレベーター詳細図（ 8 ）
M- 010	既存校舎改修図（空調設備）		
M- 011	1 階平面図（給水・消火配管設備）		
M- 012	現況 配置図（衛生・消火設備）（参考）		
M- 013	現況 屋内消火栓系統図（参考）		
M- 014	現況 受水槽詳細図（参考）		
M- 015	現況 1 階平面図（衛生・消火設備）- 1（参考）		

1. 工事概要

1. 工事名称

2. 工事場所

3. 建物概要・工事種目

日枝中学校ELV棟増築工事（機械）

岐阜県高山市森下町 地内

中学校・ELV棟増築

建物

概

要

様名称

用途

構造

延面積（㎡）

外部

ELV棟

中学校

S造

59.32㎡

校舎棟

中学校

R造

59.32㎡

① 給水設備

○

② 排水通気設備

③ 衛生器具設備

○

④ 給湯設備

⑤ ガス設備

⑥ 換気設備

⑦ 冷暖房設備

⑧ 消火設備

○

⑨ 昇降機設備

○

2. 工事仕様

1. 共通事項

2. 特記事項

図面及び特記仕様書に明記なき事項はすべて下記を適用する。

① 工事請負契約書

① 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書・公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）【最新版】（以下「標準仕様書」という。）

① 文部科学省「学校環境衛生の基準」※ 建築工事・電気設備工事に関する事項は、それぞれの標準仕様書に準ずる事

この仕様書は下記の要領により適用する。

（1）項目は○印内に数字のあるものを適用する。

（2）特記事項は◎印だけを適用する。

設計図書 の優先順位は次の通りとする。（1）現場説明書（質疑回答書）（2）工事仕様書（3）設計図書（4）標準仕様書

（1）使用材料

① 使用資材については、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼンの含まれる量等に充分注意し資材の選定を行うこと。

① 上記が含まれる資材を使用する場合は監督員と協議し、指定濃度となるよう枯らし期間を充分取り施工を行うこと。

（2）ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物

・ 文部科学省における「学校環境衛生の基準」に従いホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の基準を定める。

ホルムアルデヒド	100μg/m ³ （0.08ppm）以下
トルエン	260μg/m ³ （0.07ppm）以下
キシレン	870μg/m ³ （0.20ppm）以下
パラジクロロベンゼン	240μg/m ³ （0.04ppm）以下
エチルベンゼン	3800μg/m ³ （0.88ppm）以下
スチレン	220μg/m ³ （0.05ppm）以下

（3）室内汚染物質測定

・ 請負者は上記の基準以下であることを指定検査センターにて検査確認し、工期内に引渡しを行うこと。又ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の濃度が基準以上だった場合は、請負者が直ちに原因を特定し汚染源の除去を行い再度検査確認をする。除去及び再検査に要した費用の全ては請負者の負担とする。

（4）発生材処理

① 引渡しを要するものは監督員の指定する場所に整理しリストを作成の上施設管理者へ引き渡す。又引渡しを要しないものは全て場外に搬出し下記の建設廃棄物の項及び関係法令等に従い適正に処理する。

（5）建設廃棄物

① 処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例」「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理する。

① 混合物の処理については管理最終処分場に持ち込むものとする。

（6）再資源化施設への搬出

① 工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出する。

・ コンクリート塊

① アスファルトコンクリート塊

・ 木屑

・ 石膏ボード屑

・ 繊維屑

① 鉄・アルミ・ステンレス屑

・ ガラス・陶磁器屑

① プラスチック類

（7）再生資材の利用

・ 下記の資材については再生資材を使用する。

資材名	規 格	使用場所	備 考
再生加熱アスファルト混合物	プラント再生舗装技術指針（日本道路協会）	構内アスファルト	
再生クラッシュラン	プラント再生舗装技術指針（日本道路協会）	アスファルト舗装下基礎・土間下	

3. 一般事項

設計変更

既設工事注記事項

工事中の既設設備

4. 提出書類

3. 工 事 項 目

各設備共通

（1）給水設備

（2）排水通気設備

（3）衛生器具設備

（4）消火設備

（5）昇降機設備

4. 保 温

5. その他

① 本工事の請負者は工事仕様書・標準仕様書に基き施工する。

② 本工事に関係ある法令・政令・告示・条例等はよくこれ遵守し必要書類の届出・手続き等は請負者がこれを代行する。これに要する費用は請負者の負担とする。

③ 本工事施工に際し現場の納まり又は取合上の器具の取付位置・取付工法等の軽微な変更が生じた場合は係員の指示により行う。この場合請負金額の増減は行わないことを原則とする。

④ 本工事に使用する機器・材料で特に必要と認めるものについては監督員の立会いの上検査を行う。

⑤ 本工事に使用する機器・材料等はJIS規格に指定されたもの又は同等品以上のものとし監督員の承諾を受ける。尚、図中明記の品番については、参考品番とする。

⑥ 本工事における配管施工・保温施工は 一般 ① 寒冷地 仕様とする。

⑦ 本仕様書・設計図に明記なき事項でも本工事完成の為機能上・構造上・外観上当然施工を要する事項は請負金額の増減なく完全に施工のこと。

⑧ 本設計図書内明記の既設配管は、既設図面及び所轄支所担当課指示に基づき作成されている為、既設の状況と図面との間に差異が生じ、本設計書による事が困難な場合は、監督員と打合せの上、その指示に従い施工する。

⑨ 撤去及び取壊し工事は、既存設備の概要を充分に調査・把握・検討した後着工する事。

⑩ 請負者は、建設工事保険に加入し、証書の写しを係員に提出する事。

⑪ 建築竣工引渡後、原則として5年以内（特に指定のある工種を除く）において、工事不良の為生じた認められる損害等については、請負者の費用負担にて迅速丁寧に改修しなければならない。ただし、工事不良が故意または重大な過失により生じた場合は、10年間とする。

⑫ 建築竣工引渡後1年が経過した時点において監督員立会いのもので1年検査を行い、工事不良の為生じたと認められる損害等についても、係員の指示に従い改修しなければならない。尚、その費用については請負者の負担とする。

⑬ 「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」により、CORINS（工事実施情報サービス）への登録を原則とする。

⑭ 設計図書に記載がなく、工事に必要な仮設・撤去・移設・養生等が発生した場合は、監督員のもと速やかに対処すること。その費用については、請負者の負担とする。

⑮ 建築主の希望、その他により設計変更が生じる時は、原則として当該工事の見積書を予め提出し、承認を受けた後変更工事に着手する。尚この場合の見積単価については契約時のものとする。但し、本工事施工において工術上必要な微細なる工事変更については、監督員の指示に従い受注者の工事費負担により施工する。

⑯ 本設計図書は、既存建物の新築時に於ける設計図に基づいて作成されている。従って新築時の納まり、取合い等による変更、又は竣工後に行われた増改築及び設備の増設等により、既存の状態と図面に間に差異が生じ、本設計図書によることが困難な場合は、監督員と打合せの上、その指示に従う。撤去工事に於いて、事前に工事前施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工するものとする。図面明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。

⑰ 図面上、配管類の施工表記の部分も調査の上、隠蔽配管施工が可能な場合は隠蔽配管施工とする。工事範囲外及び未工事範囲の室は工事期間内も使用する為、機器及び配線撤去の際には事前に施工前調査で既設ルート等の調査を行い、工事範囲外及び未工事範囲の室の設備への影響の有無を確認すること。既設設備に影響が有る場合は監督員と協議の上、ルート迂回、仮設備等の必要と思われる仮設備工事を行うこと。

本工事に提出する書類は、高山市建築住宅課工事関連書類による他、監督員の指示による。

概 要：昇降機設備の設置に伴う機械設備改修工事

方 式：加圧ポンプ方式の系統にて各必要箇所へ供給する。既設給水管に切断接続し、迂回ルート配管を行う。

管 類：JWWAK-132 SGP-PD（地中埋設）SGP-PB（隠べい部）

埋設仕様：GL-600以上、保護砂0.1m³/㎡以上

方 式：建物内分流式とし、既設配管へ接続する。

管 類：JISK6741VP（地中配管）

仕 様：原則として寒冷地仕様とし、適切に水抜き可能な構造とする。但し対応不可な器具は一般地仕様とする。

埋設仕様：保護砂0.16㎡/㎡以上

機 器：図中品番は参考とし、承認図、施工図を提出・承諾を受け、堅固に取付ける。

仕 様：外部より適切な下り勾配を確保する。ボックス類は適切に消音を行う。

方 式：屋内消火栓設備とする。工事に伴い既設配管を切断接続し迂回ルート配管を行う。なお適切に点検、消防への届出・報告を行うこと。

仕 様：昇降機設備図による。

保温工事は下記を適用する。 A：ロックウール B：グラスウール C：耐熱ポリエチレンフォーム

	15A-80A	100A-150A		備 考
給水管	20	25	A・⑤・C	
排水管	20	25	A・B・C	ビット、機械室での保温は適用しない
給湯管	20	25	A・B・C	Cは地中埋設 Bは隠蔽部の場合
消火管	20	25	A・B・⑥	
換気ダクト	外壁より1m	隠蔽 25	A・B・C	消音内貼りは、B：ガラス材とする。

※ 明記なき保温外装は、共通仕様書を適用する。
塗装工事は下記を適用する。
・ 黒管及び継手―調査ペイント（下塗：2・中塗：1・上塗：1）〔下塗は、さび止めペイント〕
・ 白管及び継手―調査ペイント（下塗：1・中塗：1・上塗：1）〔下塗は、さび止めペイント〕
※ 明記なきは、共通仕様書を適用する。
屋外及びビットで使用する鋼材等は、（ ・溶融亜鉛めっき仕上げ ① ステンレス鋼材 ）とする。

6. 追記事項

7. 高山市特記事項

8. 工事条件

1. 土間下地中埋設配管はすべて防食加工された支持金物にて土間配筋より支持すること。

2. 地中埋設・コンクリート内・ブロック内に施工される鋼管類（外面被覆管を除く）は防食用ビニルテープ1/2重ね2回巻きとする。

3. 図中明記なき箇所で凍結の恐れがあると思われる箇所に凍結防止措置を行う事。

1. 下請契約及び使用資材について
本工事において、下請契約を締結する場合には、「高山市公契約条例」（平成30年4月1日施行）に基づき、高山市内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する主たる営業所含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。
下請け業者の選定に当たっては高山市入札参加資格停止の処置がされていないこと。
調達する工事材料は高山市内での生産品（高山市内での生産のないものにあつては岐阜県産）を選定するよう努めること。

2. 実施状況の提出について
受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。

3. 工事着手前協議について
1）本工事の受注者は、契約後1～2週間以内に設計書内容等について、監督員と工事着手前協議を行うこと。
2）協議にあたっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。
なお、協議日の設定については、受注者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。
3）協議にあたって、発注者側は監督員及び係長又は課長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。
4）協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答（その他）欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・係長又は課長の確認印を押印し、写しを現場代理人（主任技術者）が受け取ること。

4. 電子メールの利用
本工事の施工中における受発注者間の情報共有は、電子メールを利用すること。運用にあたっては「電子メールを活用した情報共有における運用指針」による他、工事着手前協議時に監督員と協議の上、決定するものとする。

6. ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について
1）ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。
2）ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には、協力すること。

7. 工事書類の簡素化について
1）書類に重複がないよう、適切な簡素化に努めること。

8. 施工中の安全確保
1）「建築基準法」「労働安全衛生法」その他関係法令等に定めるところによるほか、「建設工事公衆災害防止対策要綱 建築工事編」に従うとともに「建築工事安全施工技術基準指針」を参考に施工に伴う災害及び事故の防止に努める。
2）安全委員会の組織を構成するとともに、「日常活動（安全朝礼・ミーティング・KY活動・工事打合せ等）」及び「月例行事（安全パトロール・安全協議会・安全大会等）」の実施と記録を行うこと。

1. 本工事は、施工中に改修対象範囲の給水・消火設備の迂回ルート配管に伴い一時使用できない期間があることから工程計画を立てる際に監督員及び施設管理者と調整を行うこと。

2. 本工事は、既設配管の撤去に伴う、バルブ操作・配管の切断・復旧の取合い工事は、既設調査及び計画を充分行い、着手すること。

3. 本工事に伴い発生する、官公庁への届出関係については、事前に確認を行い受注者が代理で行うこと。

【凡 例】

記 号	名 称	備 考
―――	給水管	（屋内一般・機械室・便所）：水道用ポリライニング鋼管（JWWAK-116-PB）
―――	給水管	（屋内埋設部）：水道用ポリライニング鋼管（JWWAK-116-PD）
―――	排水管	（屋内一般・ビット内・便所）：硬質ポリ塩化ビニル管（JIS-K-6741-VP）
―――	排水管	（屋外埋設）：硬質ポリ塩化ビニル管（JIS-K-6741-VP）
-----	通気管	（屋内一般・機械室・便所）：硬質ポリ塩化ビニル管（JIS-K-6741-VP）
⊗	単水栓	
⊗	洗浄弁	
―――	弁 類（給水用）	
―――	フレキシブル継手	ステンレス製ベローズ形
―――	防振継手	ゴム製 球形
―――	通気口	VC
①	床上掃除口	COA
⊗	床排水口	D
⊗	小口径塩ビ製樹	
⊗	コンクリート製汚水樹	

工事名

日枝中学校ELV棟増築工事（機械）

図 名

機械設備工事特記仕様書

縮 尺

—

番 号

24 枚の内 M-001 号

設 計 年 月 日

令和7年2月

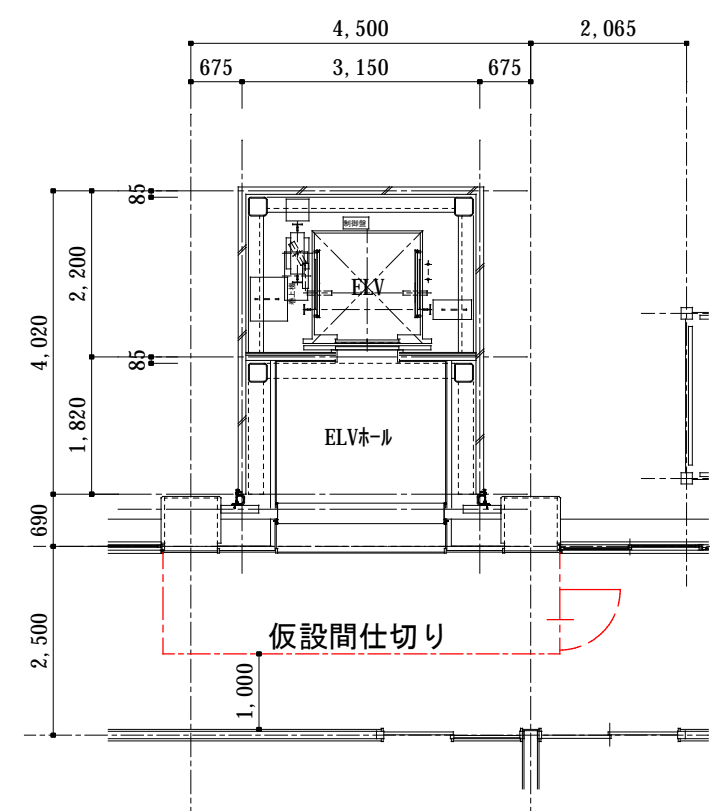
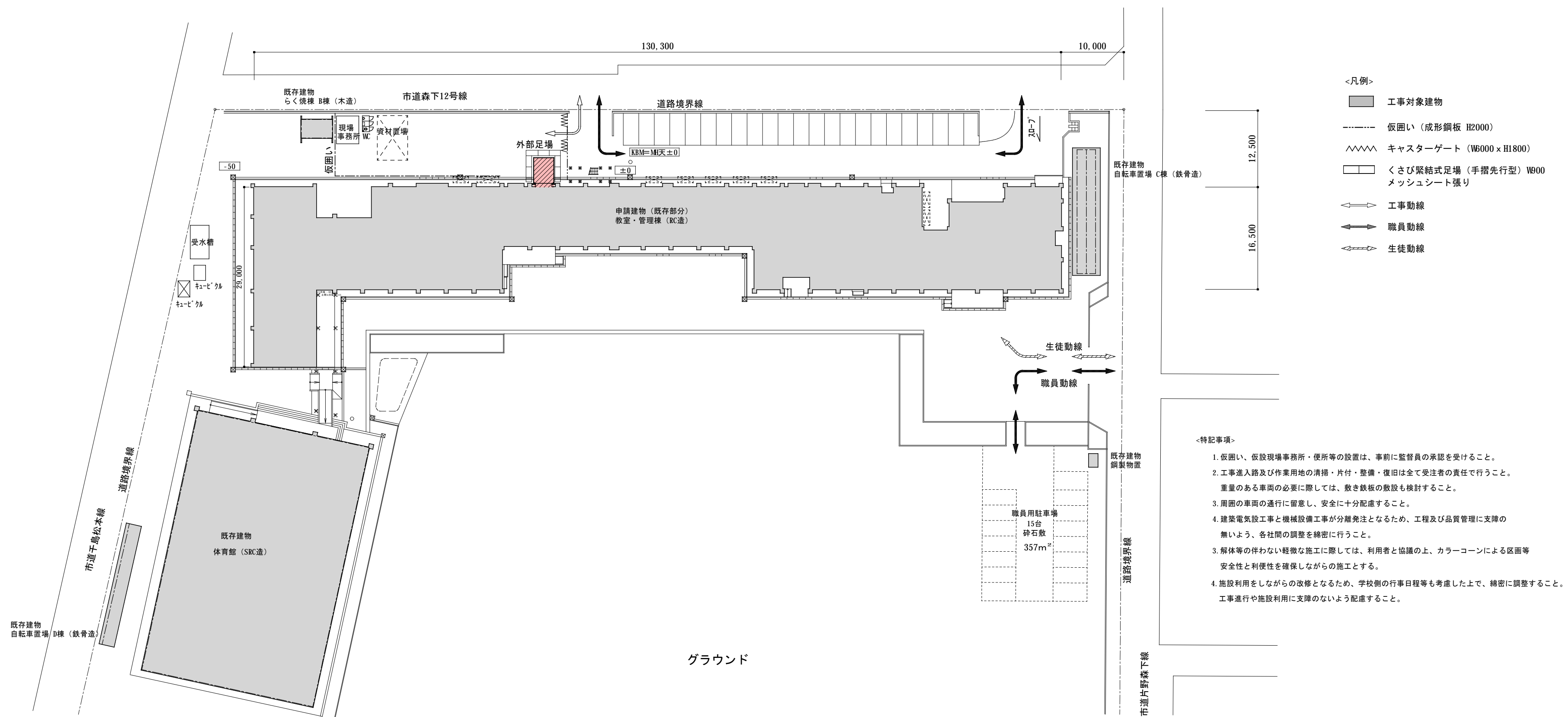
設 計

（有）斐太プランニング一級建築士事務所
一級建築士 第266975号 門 秀樹

高 山 市



工 事 名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	付近見取図		
縮 尺	1/5000	番 号	24 枚の内 M-002 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 2 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



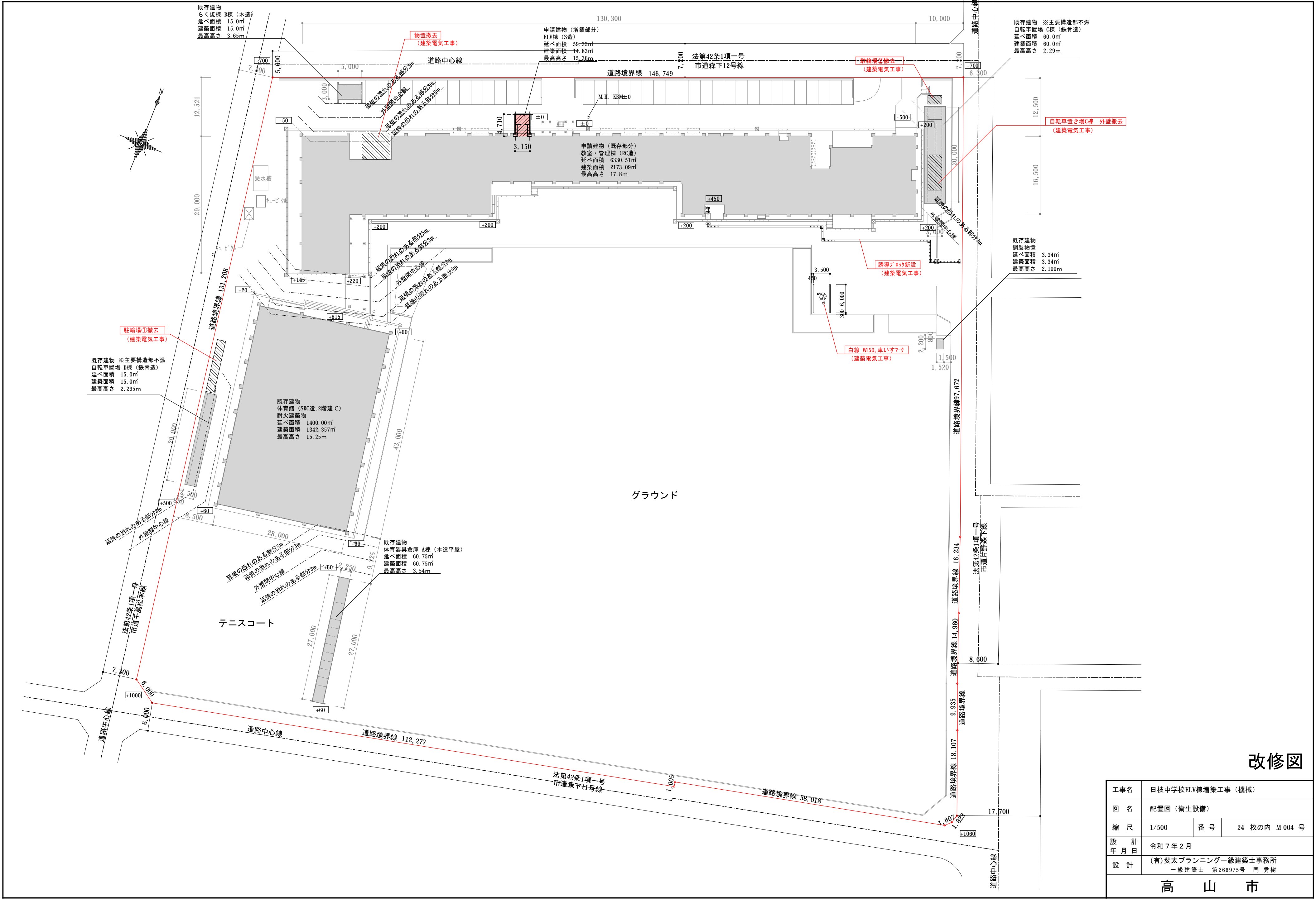
■ 工事工程表

月	1月目	2月目	3月目	4月目	5月目	6月目	7月目	8月目
準備工・書類・検査								
仮設工事								
解体工事								
土工事・基礎工事								
鉄骨工事								
屋根外装工事								
内装工事								
外構工事								
エレベーター工事								
配管迂回工事								
既設建物改修工事								

〔 〕 表記は別途工事（建築・電気）工程を示す

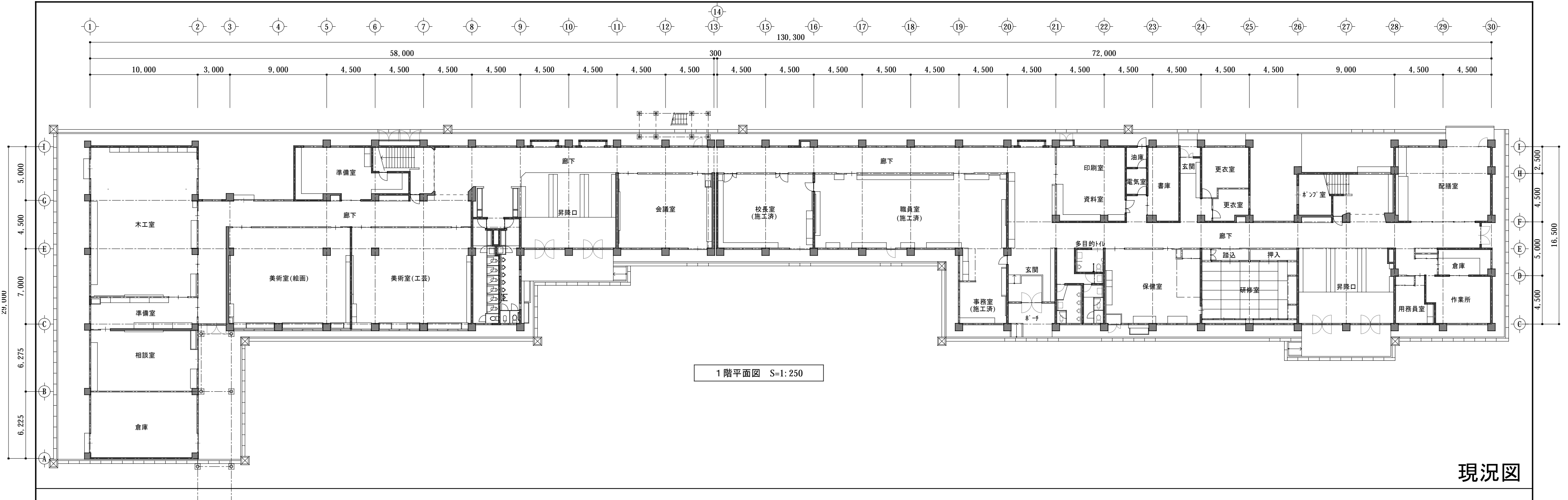
参考図

工事名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	仮設計画図		
縮 尺	1/500, 1/100	番 号	24 枚の内 M-003 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 2 月		
設 計	(有) 斐太プランニング 級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

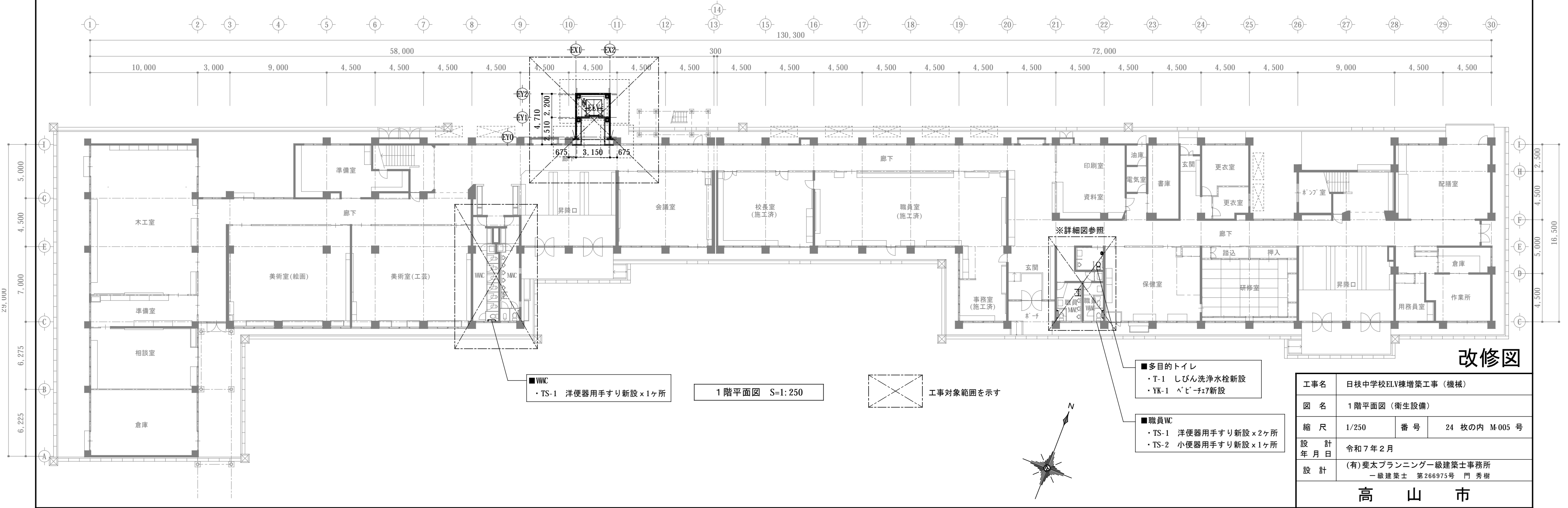


改修図

工 事 名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	配置図（衛生設備）		
縮 尺	1/500	番 号	24 枚の内 M-004 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 2 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第 266975 号 門 秀 樹		
高 山 市			

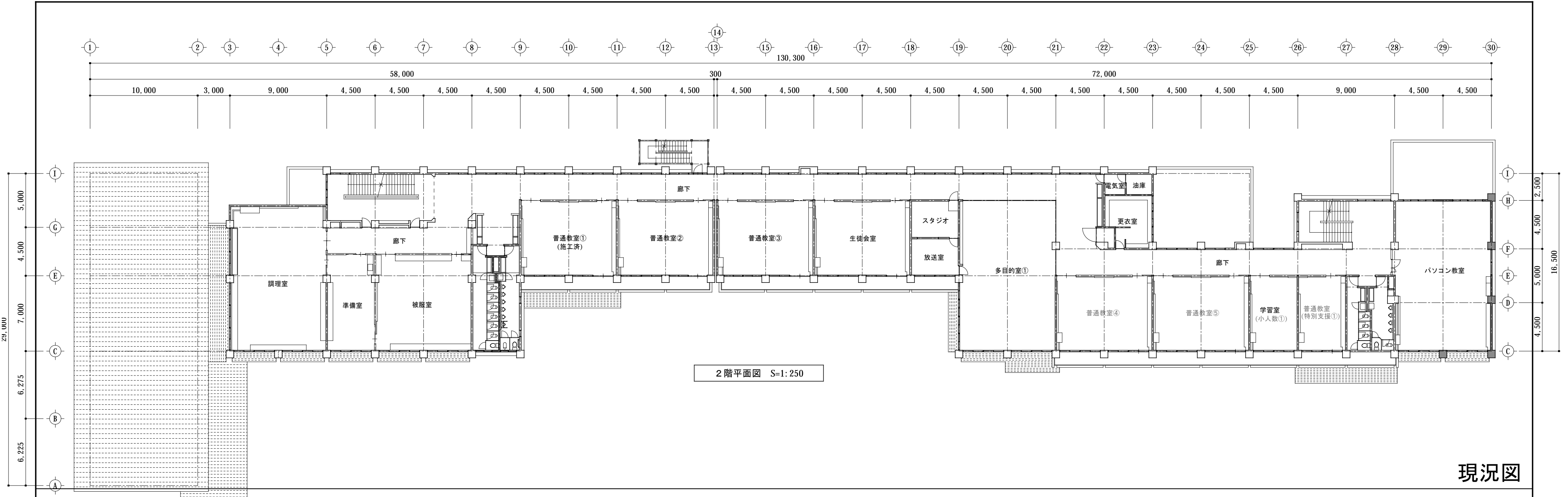


現況図

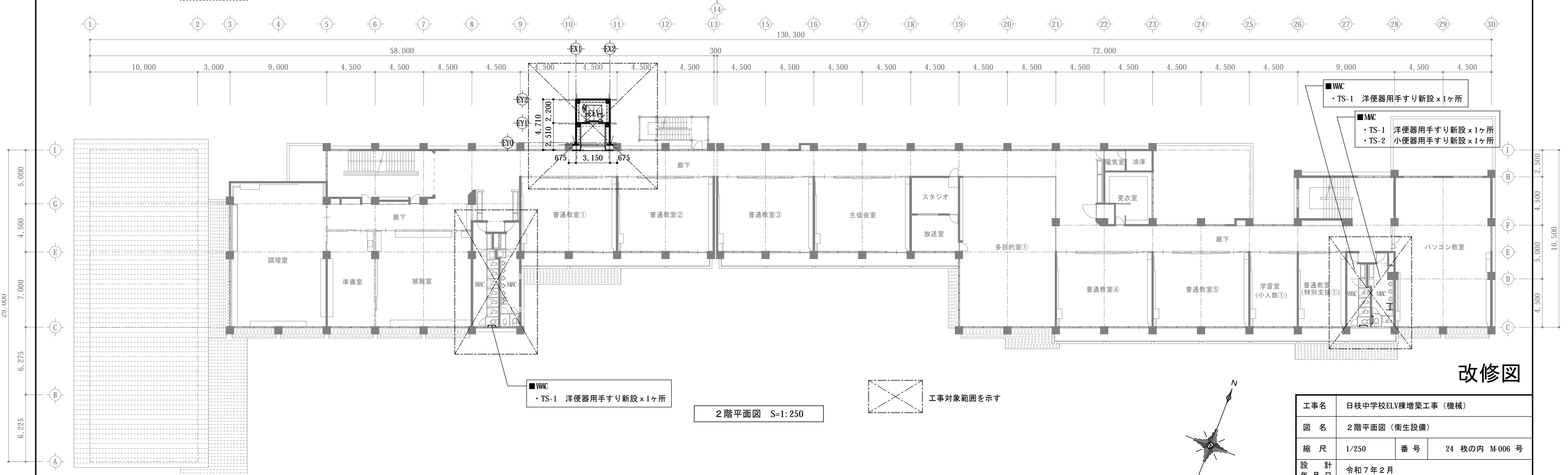


改修図

工 事 名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	1 階平面図（衛生設備）		
縮 尺	1/250	番 号	24 枚の内 M-005 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 2 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

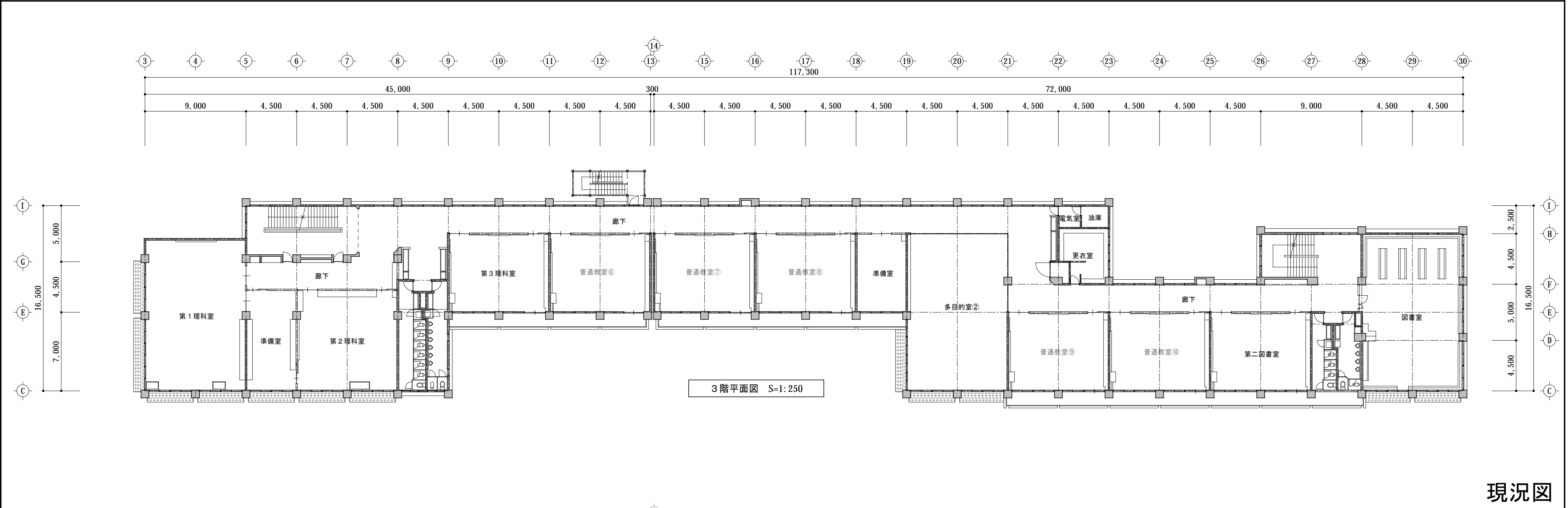


現況図

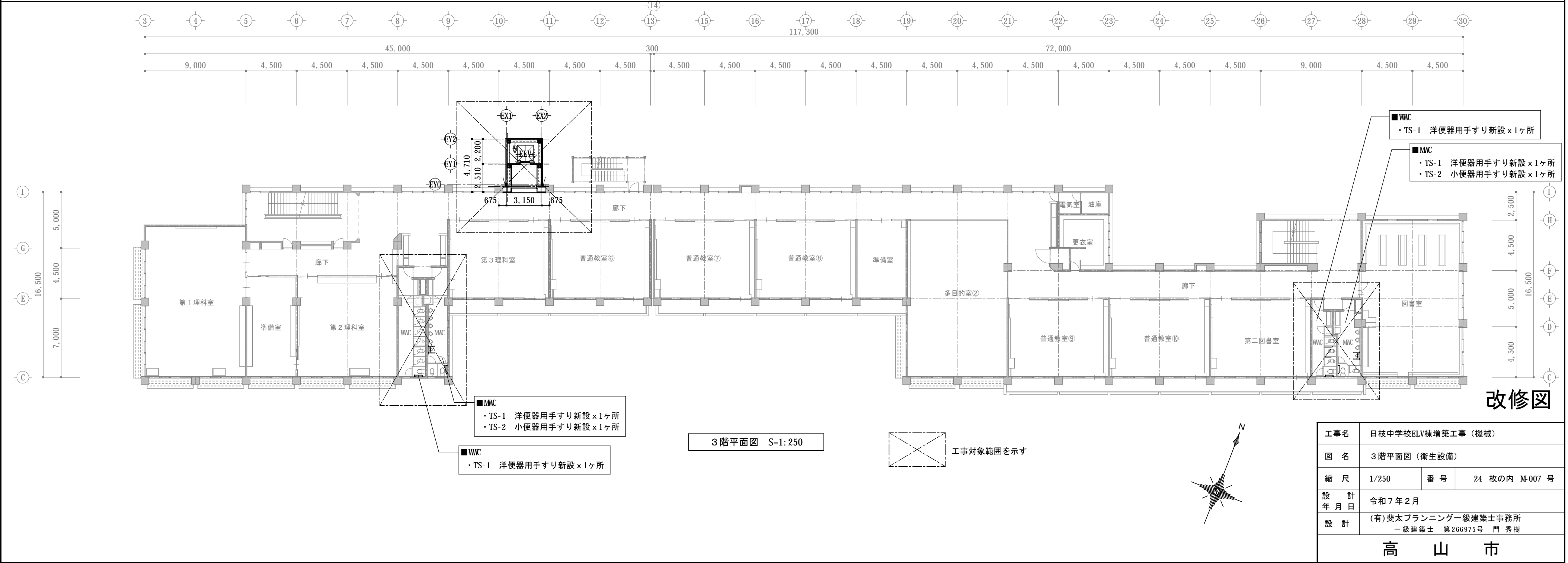


改修図

工 事 名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	2 階平面図（衛生設備）		
縮 尺	1/250	番 号	24 枚の内 M-006 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 2 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

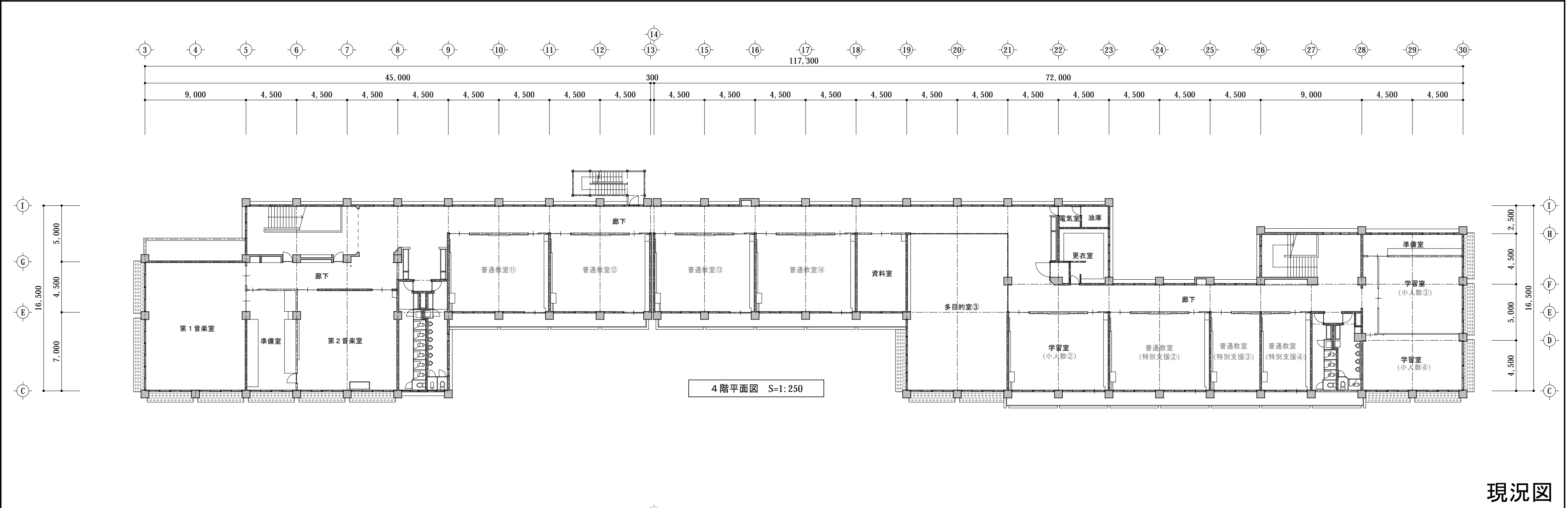


現況図

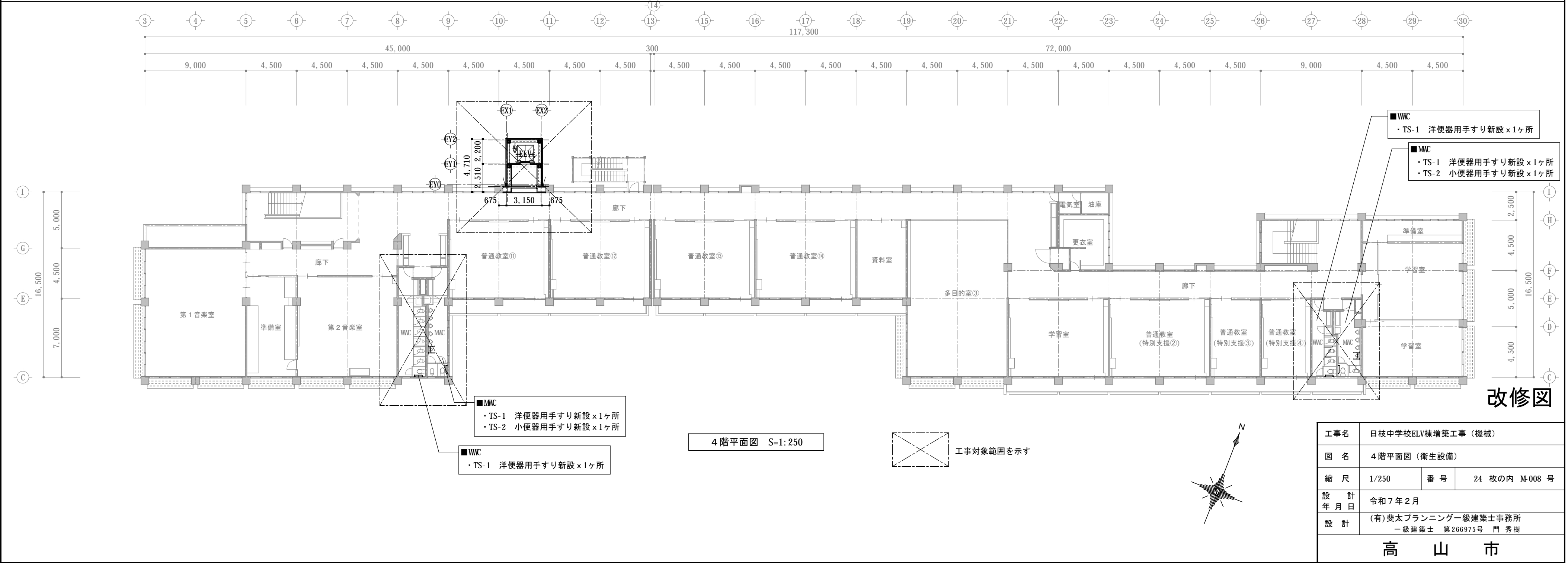


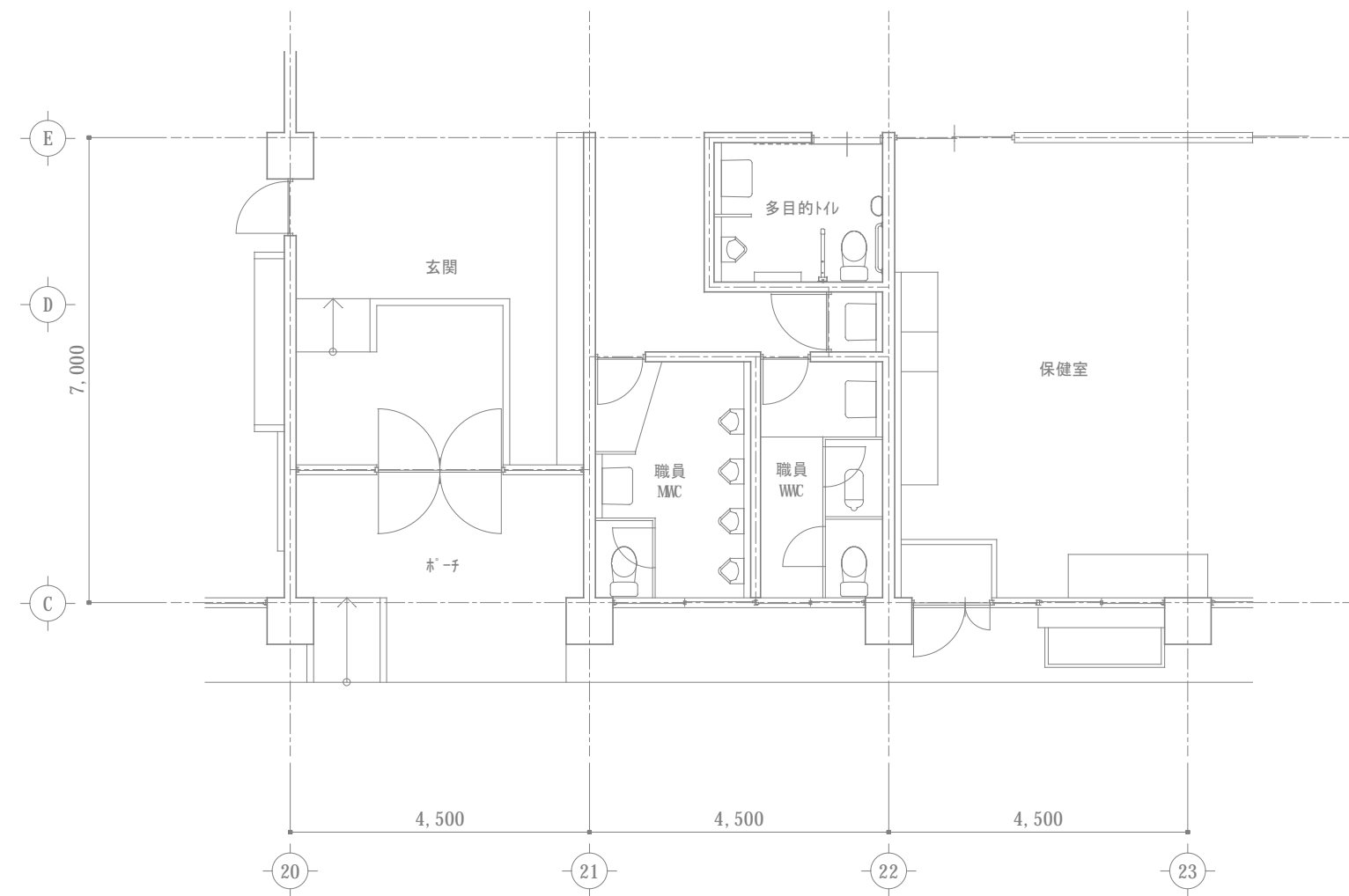
改修図

工事名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	3 階平面図（衛生設備）		
縮 尺	1/250	番 号	24 枚の内 M-007 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 2 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

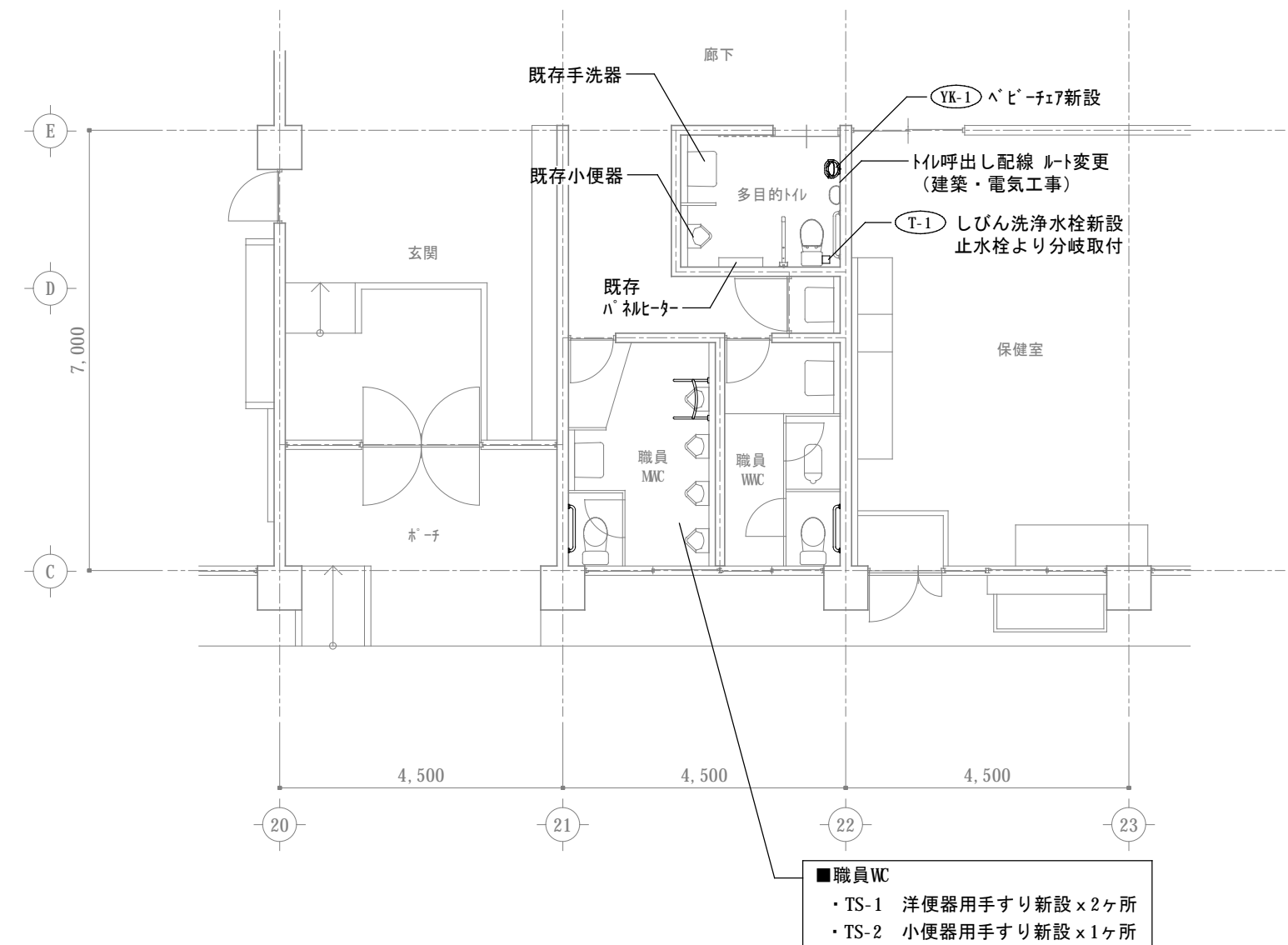


現況図





1 階平面図 S=1:100



1 階平面図 S=1:100

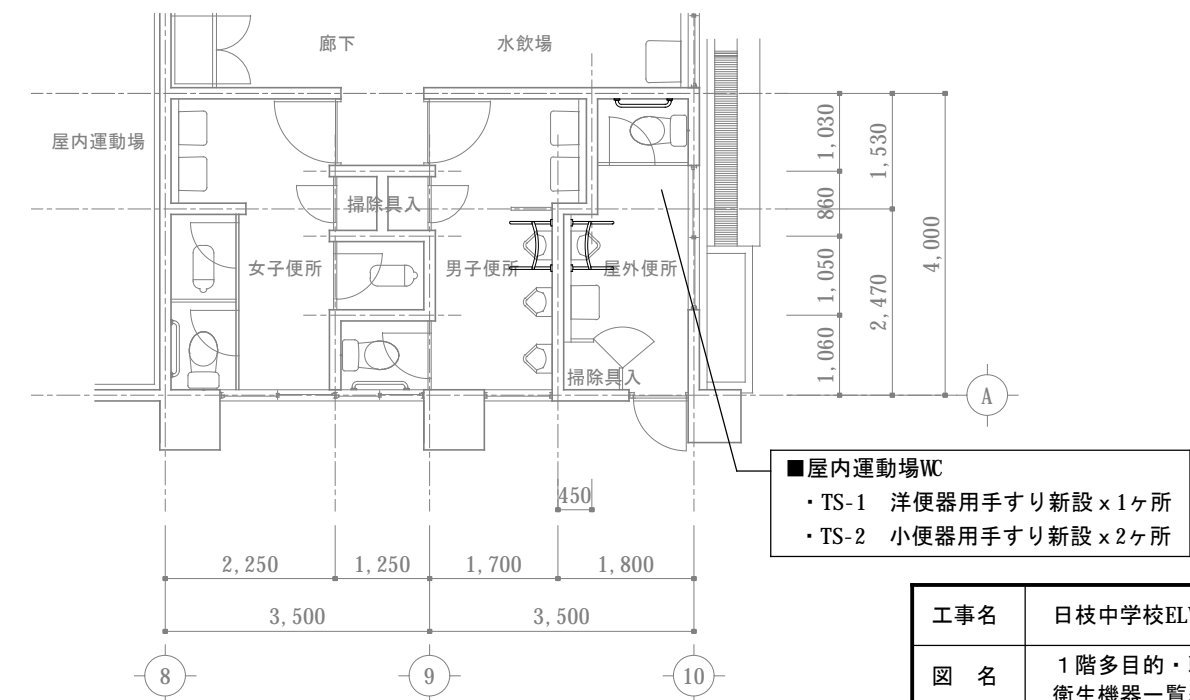
現況図

改修図

衛生機器一覽表

※ 特記なき電力・能力は定格値を示す

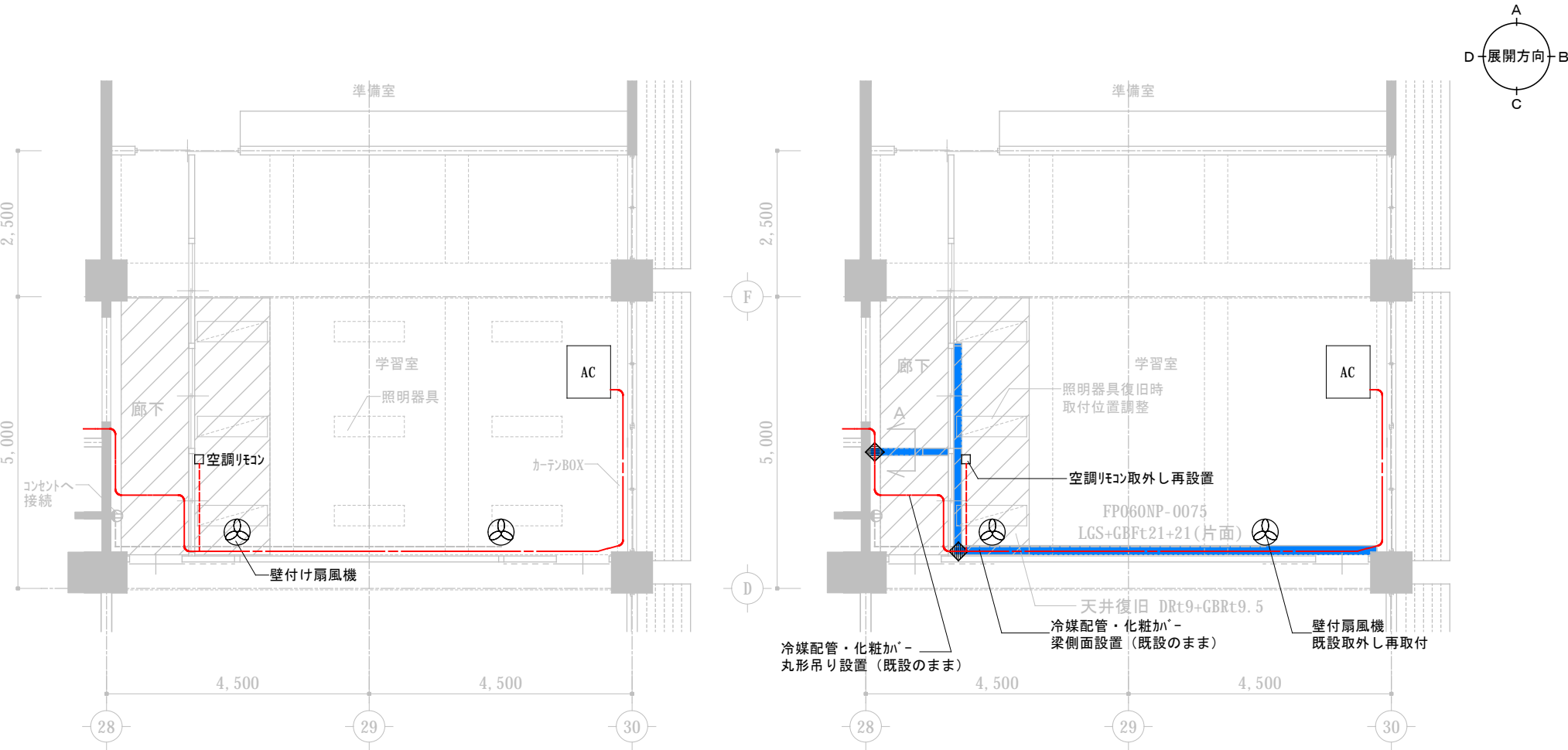
記号	器具名称	仕 様	参 考 型 番	数量	場所	電源/消費電力/加熱能力
T-1	洗浄水栓	しびん洗浄水栓（逆止弁付） ホースフック 水受けトレイ	T95WRR	1	1F多目的WC	
YK-1	ペビーチェア	平壁設置形 樹脂製 300×250×H950 耐荷重30kg	YKA15S	1	1F多目的WC	
TS-1	手すり	L型手すり 700×700 前寸120	T112CL10	15	1～4FMC、WC	
					屋内運動場WC	
TS-2	手すり	小便器用手すり 固定金具 付属品一式	T112CU22	8	1～4FMC	
					屋内運動場WC	



屋内運動場 1階平面図 S=1:100

改修図

工事名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
国 名	1 階多目的・職員WC・屋内運動場WC 衛生機器一覧表		
縮 尺	1/100	番 号	24 枚の内 M-009 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 2 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



平面図 S=1:100

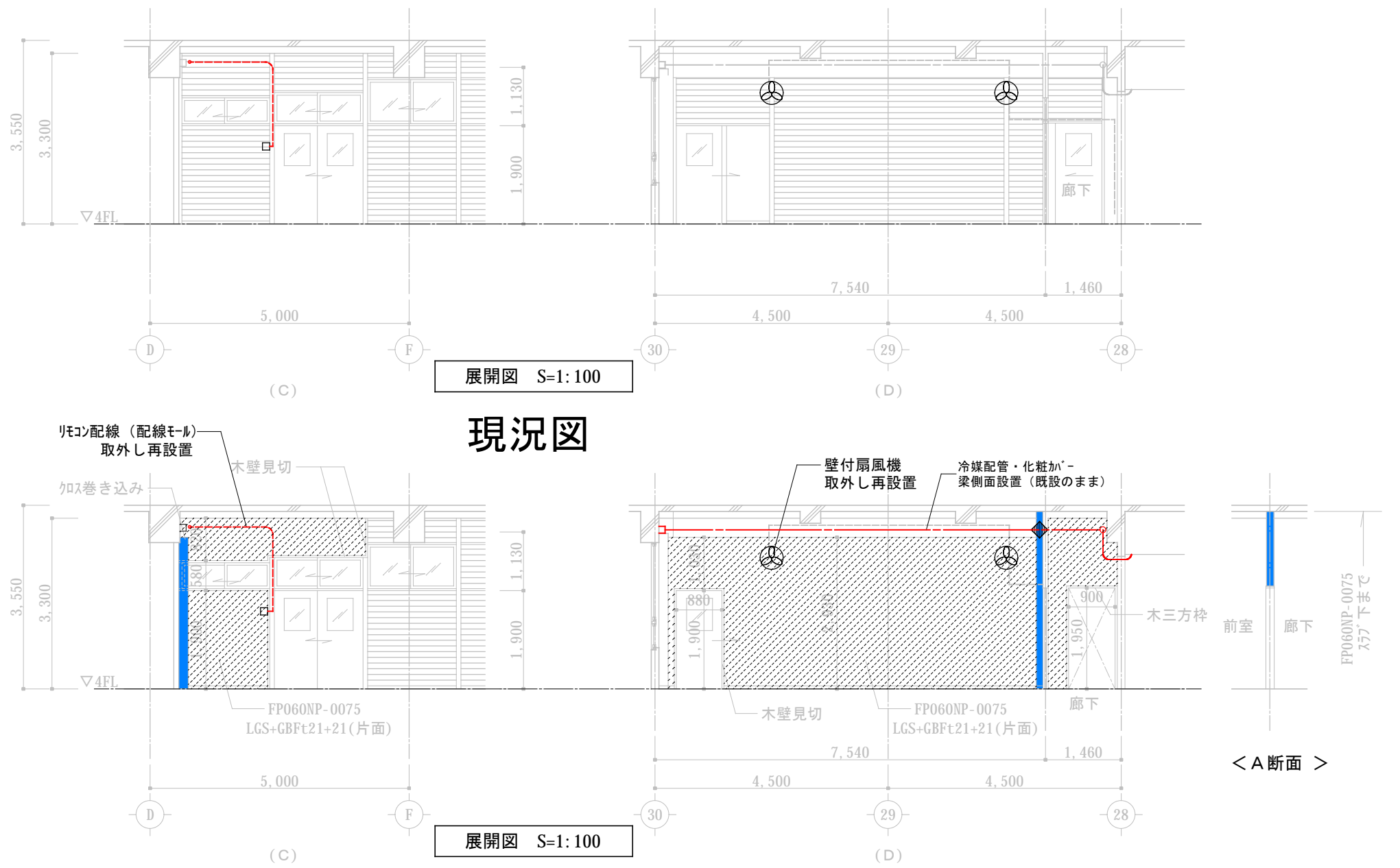
現況図

平面図 S=1:100

改修図

■凡 例

- 防火区画貫通(壁)部処理 PS060WL-0774を示す
- リモコン配線 一部取外し再設置
- 空調配管 (既存のまま)
- 壁付け扇風機 取外し再設置 2箇所
- 照明器具 取外し再設置 3箇所 (建築・電気工事)
- 天井撤去・復旧範囲 (建築・電気工事)
- 防火上主要な間仕切壁



展開図 S=1:100

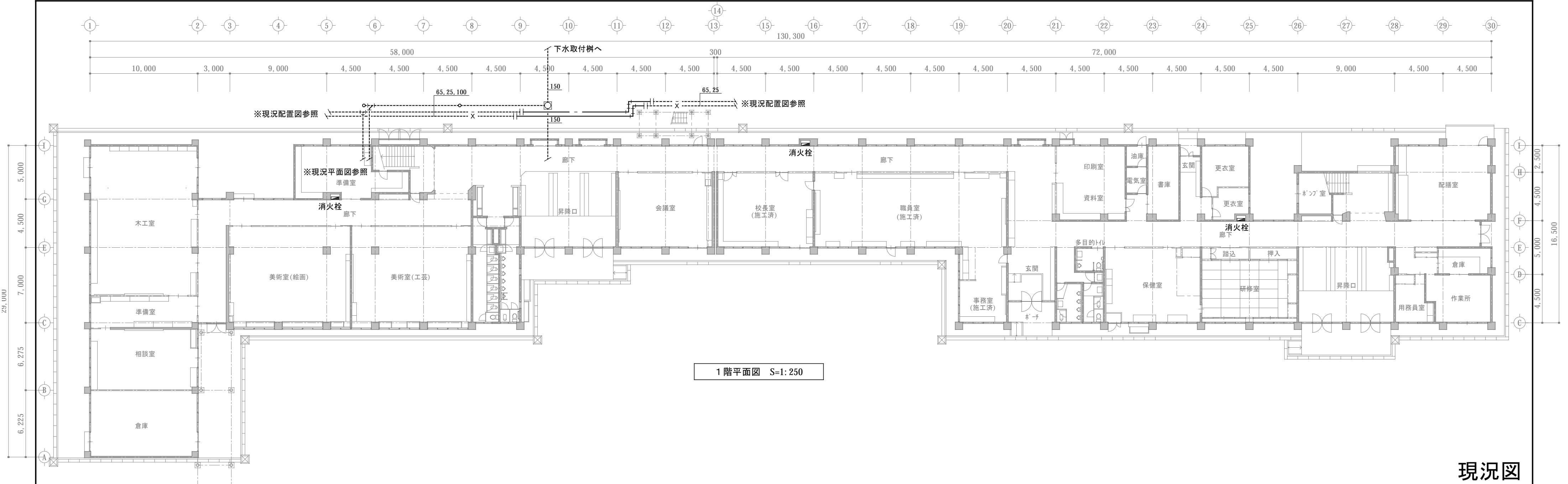
現況図

展開図 S=1:100

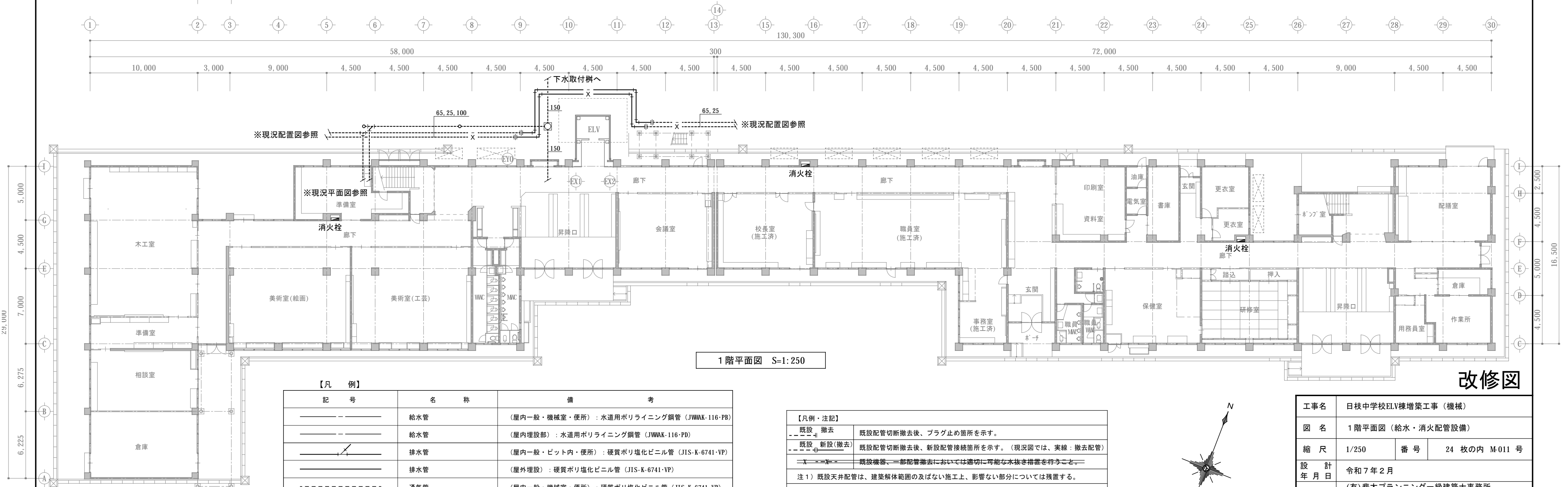
改修図

< A 断面 >

工 事 名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	既存校舎改修図（空調設備）		
縮 尺	1/100	番 号	24 枚の内 M-010 号
設 計 年 月 日	令和7年2月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



現況図



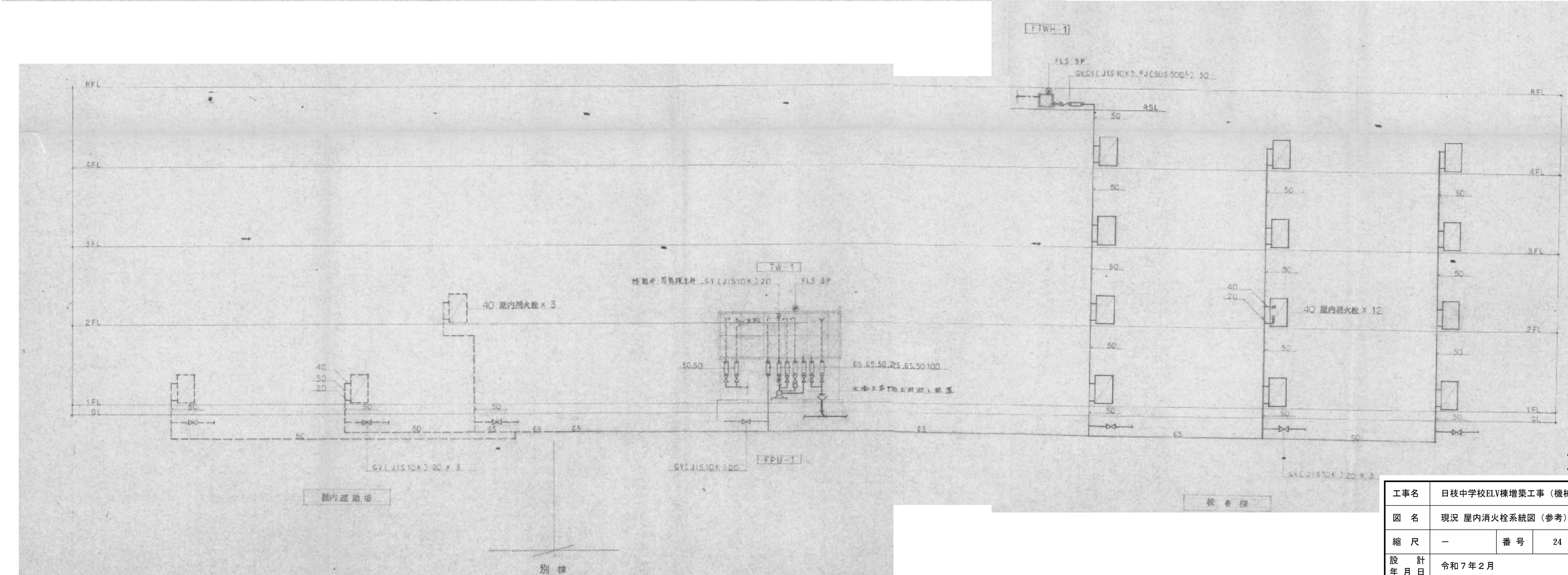
改修図

【凡 例】			
記 号	名 称	備 考	
—	給水管	(屋内一般・機械室・便所)：水道用ポリライニング鋼管 (JWWAK-116-PB)	
—	給水管	(屋内埋設部)：水道用ポリライニング鋼管 (JWWAK-116-PD)	
—	排水管	(屋内一般・ビット内・便所)：硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS-K-6741-VP)	
—	排水管	(屋外埋設)：硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS-K-6741-VP)	
- - -	通気管	(屋内一般・機械室・便所)：硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS-K-6741-VP)	
— X —	消火管	(屋外埋設)：消火用炭素鋼鋼管 (JIS-G-3452-VS)	

【凡例・注記】	
既設 撤去	既設配管切断撤去後、プラグ止め箇所を示す。
既設 新設(撤去)	既設配管切断撤去後、新設配管接続箇所を示す。(現況図では、実線：撤去配管)
既設機器・一部配管撤去においては適切に可能な水抜き措置を行うこと	
注1) 既設天井配管は、建築解体範囲の及ばない施工上、影響ない部分については残置する。	
注2) 既設配管利用部分との切断工事は、撤去工事前に現地確認、調整の上で行うこと。	
注3) 既設配管・配線利用部分についてはその仕様、状態を再度確認すること。	

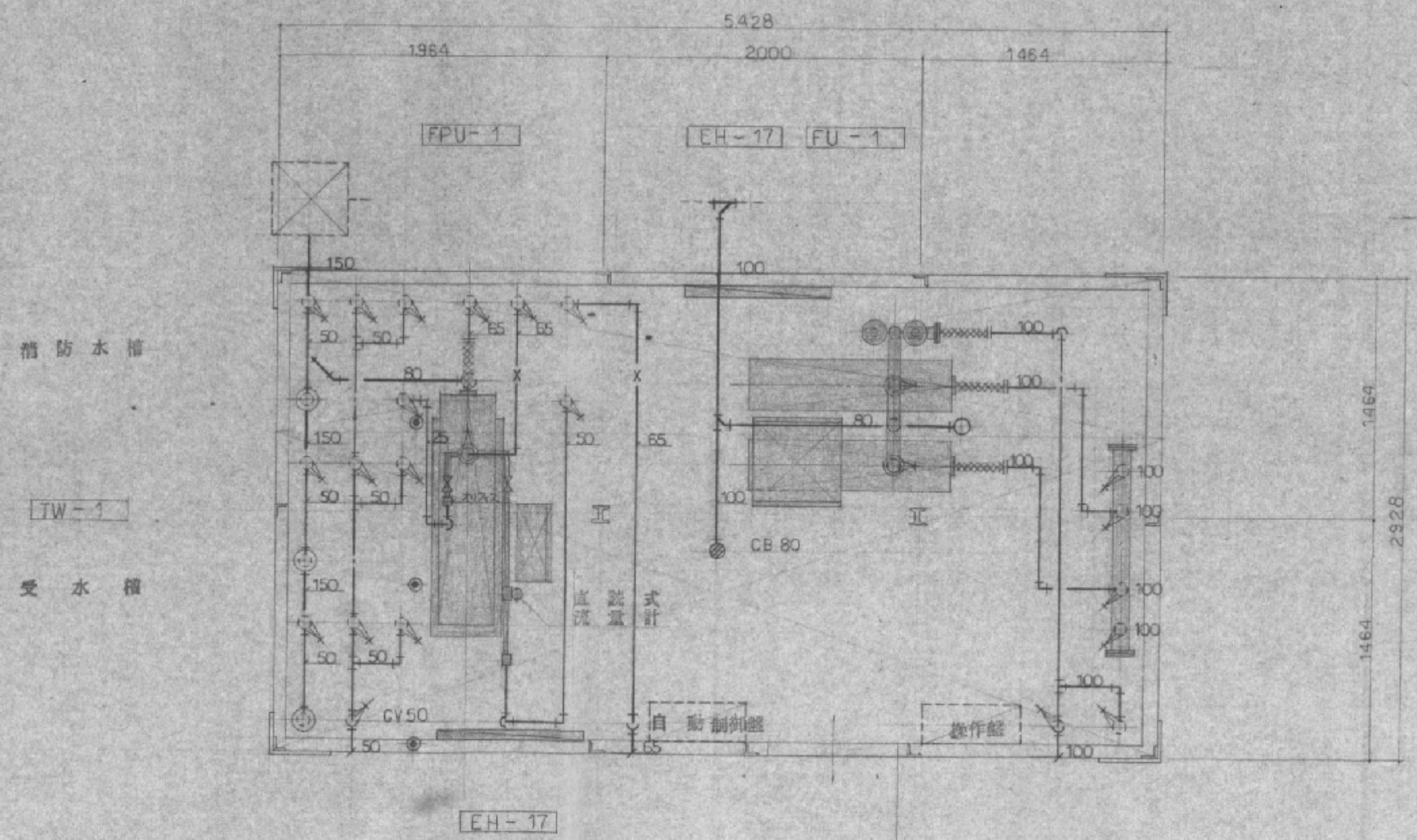
工 事 名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	1 階平面図（給水・消火配管設備）		
縮 尺	1/250	番 号	24 枚の内 M-011 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 2 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

屋内消火栓																							
1) 同時放水回数										N					3								
2) 消火栓ポンプ吐出量										Q = 150 × N					450.0 ㍒/min								
3) 消火栓ポンプ揚程																							
(1) 1.5m先端放水圧力1.7 kg/m ² を損失水頭に換算															17.0 m								
(2) φ40mm 15m × 2本ホースを損失水頭に換算										$\frac{25}{100} \times 15 \times 2$					7.8 m								
(3) 配管等の摩擦損失水頭																							
区間	流量	摩擦係数	管線損失		細手 線 損 失										バルブ 線 損 失					摩擦損失合計			
管径	㍒/min	M/100M	管長	① 摩擦損失	45°エルボ		90°エルボ		リターン・バンド(180°)		手動バルブ(90°)		手動バルブ(180°)		合計長 ② 摩擦損失	他 切替		止動弁 閉鎖時		合計長 ③ 摩擦損失	①+②+③ m		
					配管長さ	合計長	配管長さ	合計長	配管長さ	合計長	配管長さ	合計長	配管長さ	合計長		配管長さ	合計長	配管長さ	合計長			配管長さ	合計長
65	390	8.51	56	4.7656	1.0	8	2.0	16.0	5.0	5	4.1	20.5	35.5	3.10615	2	0.4	0.8	1	22.6	22.6	23.4	1.99134	9.86309
65	260	4.02	43	1.7286	1.0		2.0		5.0		1	4.1	4.1	0.16482		0.4			22.6				1.89342
50	130	3.98	53	2.1094	0.7	4	1.6	6.4	3.9	9	3.2	28.8	35.2	1.40096		0.3			17.6				3.51036
40	130	11.74	2	0.2348	0.5	1	1.3	1.3	3.0			2.5	1.3	0.15262		0.3		1	13.9	13.9	13.9	1.63186	2.01928
(4) 揚水量算揚程																				8.3 m		④ 17.28615 m ≒ 17.3 m	
4) ポンプに必要な揚程										[(1) + (2) + (3) + (4)] × 1.1 = [17.0 + 7.8 + 17.3 + 8.3] × 1.1 = 55.44 ≒ 56 m										56 m			
5) ポンプの必要動力										$M = \frac{0.163 \times Q \times H}{E} \times K = \frac{0.163 \times 0.45 \times 56}{0.5} \times 1.1 = 9.04 \equiv 11 \text{ kW}$										11 kW			
6) 水頭必要水量										OT = 2.6 × N = 2.6 × 3 = 7.8										7.8 m ³			



工 事 名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	現況 屋内消火栓系統図（参考）		
縮 尺	－	番 号	24 枚の内 M-013 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 2 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

不凍結止水栓 一覧表									
番号	操作	系 統	記 号	口 径	1 階	2 階	3 階	4 階	介 紹
1	自 動	金工木工系統	①	φ 25	木工室				RC-1
			①		準備室				
			①		金工室				
2	自 動	美術室 系 統	②	φ 32	美術室 (工乳)				RC-1
			③	φ 20	準備室				RC-1
			④	φ 32	美術室 (鉛筆)				RC-1
3	自 動	家庭科室 系 統	⑤	φ 40		調理室			RC-1
			⑤			準備室			
			⑥	φ 20		調理室 (給 湯)			
4	自 動	理科室 系 統	⑧	φ 40			第 一 理科室		RC-1
			⑧				準備室		
			⑧				第 二 理科室		
5	手 動	西 1 階 生徒用女子便所系 統	⑦	φ 50	生徒用女子便所 (西)				B-1
6	手 動	西 1 階 生徒用男子便所系 統	⑧	φ 40	生徒用男子便所 (西)				B-1
7	自 動	西 1~4 階 手洗場 系 統	⑨	φ 25	手洗場 (西)				RC-1
			⑩	φ 40		手洗場 (西)			RC-1
8	手 動	西 2~4 階 生徒用便所系 統	⑪	φ 80		生徒用男子・女子便所 (西)			B-2
9	自 動	管理室 系 統	⑫	φ 20	会談室				RC-1
			⑬	φ 20	校長室				RC-1
			⑭	φ 20	職員室・事務室・事務室				RC-1
			⑮	φ 20	更衣室				RC-1
10	手 動	職員用男子便所系 統	⑯	φ 32	職員用男子便所				B-1
11	手 動	職員用女子便所系 統	⑰	φ 40	職員用女子便所				B-1
			⑱		待合室 用便所				
12	自 動	保健室 系 統	⑲	φ 20	保健室				RC-1
13	手 動	保健室 系 統	⑲	φ 25	保健室 (汚 物 流 し)				B-1
14	自 動 (手 動)	用務員室 系 統	⑳	φ 20	用務員室				RC-1
			㉑		作業室				
15	手 動	東 2~4 階 生徒用便所系 統	㉒	φ 65		生徒用男子・女子便所 (東)			B-2
			㉓	φ 25	水飲場	給湯室 (手洗器)	図書室 (手洗器)		RC-1
			㉔	φ 20	配膳室				RC-1
			㉕	φ 32		水飲場			RC-1
			㉖					電気温水器	
			㉗	φ 20	水飲場 (給 湯)				RC-1
			㉘	φ 20	洗面便所 (兼給湯)				RC-1
			㉙	φ 20	水飲 足洗場				B-1
			㉚	φ 20	足洗場				B-1
			㉛	φ 20	水飲 足洗場				B-1
16	自 動	水飲場 系 統	㉜						
			㉝						
17	手 動	外 部 水飲場 系 統	㉞						
			㉟						
			㊱						



受水槽 詳細図

TW-1 受水槽			
給水管 自動	GV FJCSUS300 ^L BT(逆止)	50	2
給水管 手動	GV FJCSUS300 ^L	50	2
溢水管	FJCSUS300 ^L	100	2
排水 管	GV FJCSUS 300 ^L	50	2
フロートスイッチ	FLS 4P		2
凍結防止ヒーター			1

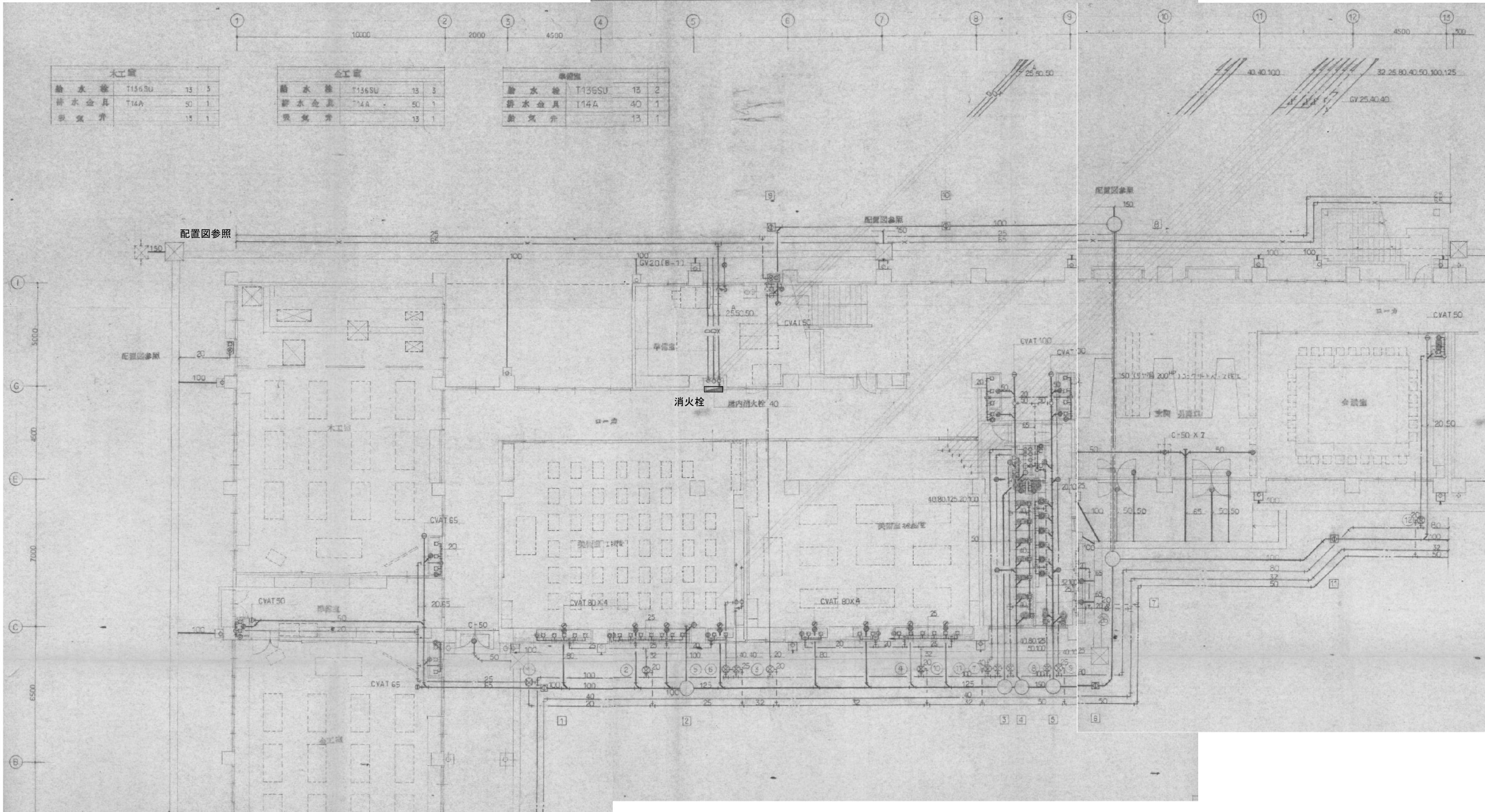
TW-1 消防水槽			
給水管 自動	GV FJCSUS300 ^L BT(逆止)	50	1
給水管 手動	GV FJCSUS 300 ^L	50	1
溢水管	FJCSUS300 ^L	100	1
排水 管	GV FJCSUS 300 ^L	50	1
フロートスイッチ	FLS 4P		1
凍結防止ヒーター			1

FU-1			
吸込管	GV FJCSUS300 ^L	100	4
吐出管	GV FJCSUS300 ^L	100	1
マニホールド	GV FJCSUS300 ^L	100	1
給水管	SUS 1300 ^L	123	1

FPU-1			
吸込管	GV FVCSUS300 ^L	80	1
吐出管	GV FVCSUS300 ^L	80	2
マニホールド	GV FVCSUS300 ^L 直流式計	50	1
逆止 管	GV FVCSUS300 ^L オリパス	25	1
給水管	GV 給湯器・排水計	20	1

現況図

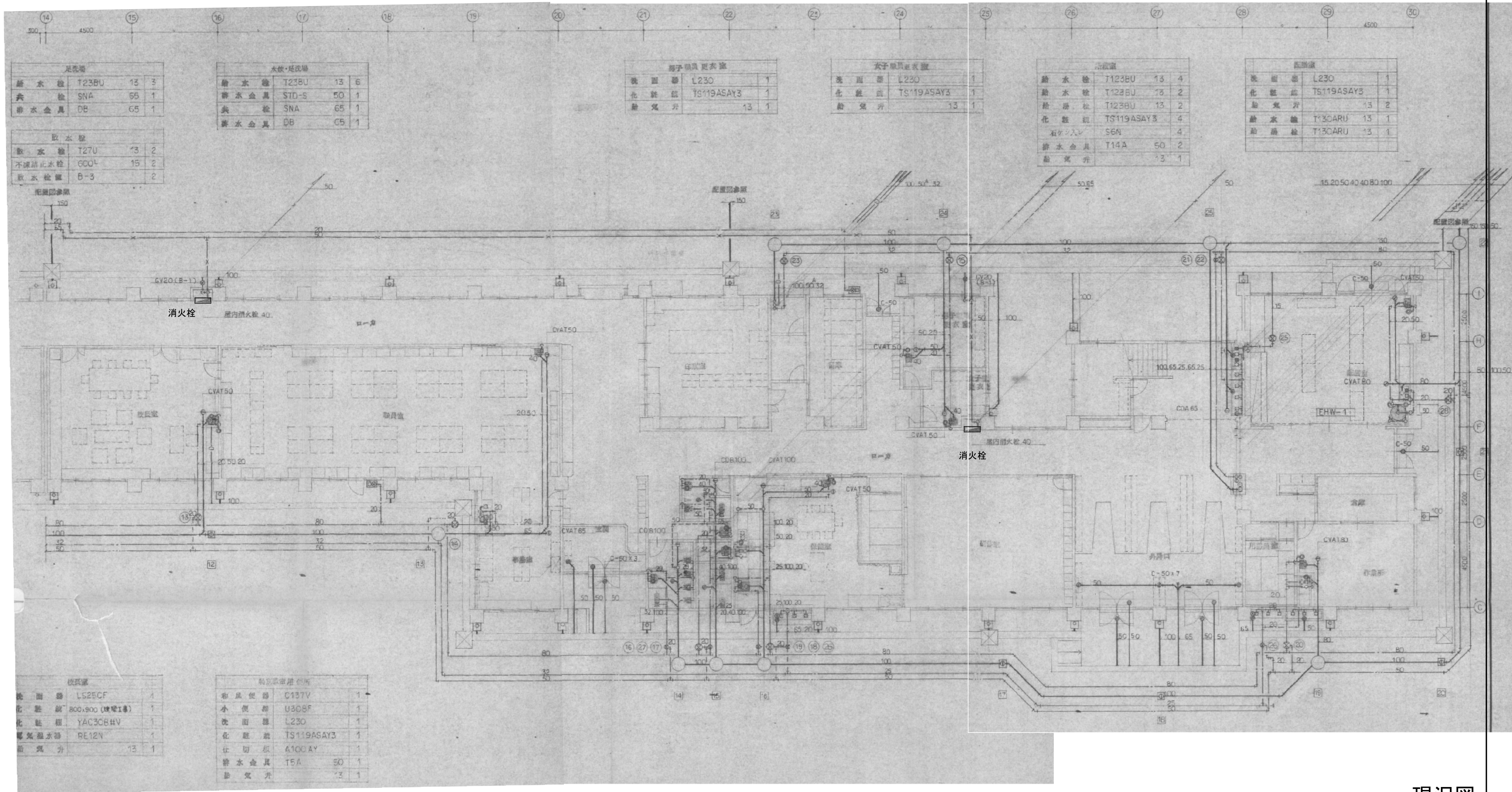
工事名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	現況 受水槽詳細図（参考）		
縮 尺	—	番 号	24 枚の内 M-014 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 2 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



現況図

【凡 例】		
記 号	名 称	備 考
———	給水管	(屋内一般・機械室・便所)：水道用ポリライニング鋼管 (JWWK-116-PB)
———	給水管	(屋内埋設部)：水道用ポリライニング鋼管 (JWWK-116-PD)
———/———	排水管	(屋内一般・ビット内・便所)：硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS-K-6741-VP)
———	排水管	(屋外埋設)：硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS-K-6741-VP)
-----	通気管	(屋内一般・機械室・便所)：硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS-K-6741-VP)
———X———	消火管	(屋外埋設)：消火用炭素鋼鋼管 (JIS-G-3452-VS)

工 事 名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	現況 1階平面図（衛生・消火設備） - 1（参考）		
縮 尺	－	番 号	24 枚の内 M-015 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 2 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



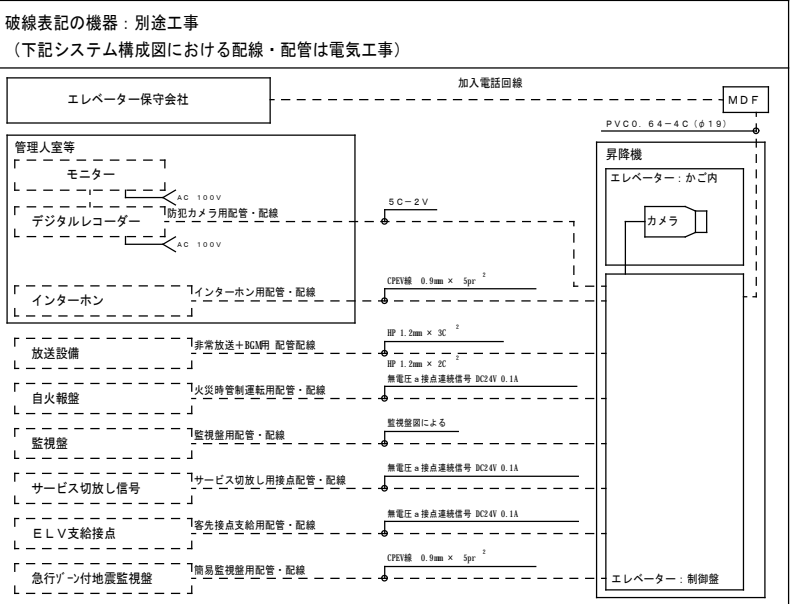
現況図

【凡 例】		
記 号	名 称	備 考
———	給水管	(屋内一般・機械室・便所)：水道用ポリライニング鋼管 (JWWK-116-PB)
———	給水管	(屋内埋設部)：水道用ポリライニング鋼管 (JWWK-116-PD)
———	排水管	(屋内一般・ビット内・便所)：硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS-K-6741-VP)
———	排水管	(屋外埋設)：硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS-K-6741-VP)
-----	通気管	(屋内一般・機械室・便所)：硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS-K-6741-VP)
———X———	消火管	(屋外埋設)：消火用炭素鋼鋼管 (JIS-G-3452-VS)

工事名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	現況 1 階平面図（衛生・消火設備） - 2（参考）		
縮 尺	－	番 号	24 枚の内 M-016 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 2 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

エレベーター仕様要項

分類	仕様項目	01号機
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式（1C-2BC）
	積載量	750kg
	定員	11名
	定格速度	60m/min
	戸閉方式	2枚戸両引き（CO）
	出入口幅	800mm
	出入口高さ	2100mm
	かご室サイズ（内法間口）	1400mm
	かご室サイズ（内法奥行）	1350mm
	かご室内法高さ	2300mm
	出入口方式	一方向出入口
	正面側停止数	4停止（1-4階）
その他基本仕様	動力用電源	AC3φ-210V-60Hz
	照明用電源	AC1φ-100V-60Hz
	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14
	敷居間隔	10mm
	車いす仕様	制御機能付
	視覚障がい者対応仕様	あり
	乗場視覚障がい者用注意名板（追加分）	3枚
	地震時管制運転方式	P波+S波センサ付3段設定（普通級）
その他仕様	停電時自動着床装置	あり
	かご呼び取消機能	あり



エレベーター仕様要項

分類	仕様項目	01号機
基本仕様	乗場三方枠	大枠角形幕板なし 130mm×350mm ステンレスヘアライン（1-4階）
	乗場戸	鋼板塗装（メーカー標準色）（1-4階）
	乗場敷居	アルミ製（1-4階）
	乗場インジケーター	一体セグメントLED（橙色） 樹脂フレーム付ステンレス（1-4階）
	乗場インジケーター一体形ボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1-4階）
	乗場インジ運行表示灯1	休止表示
	車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタン連結取付 樹脂フレーム付ステンレス（1-4階）
	車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1-4階）
	乗場休止スイッチ	あり
	乗場休止スイッチ取付位置	乗場インジ組込
	天井	スタンダード：フラット（白色） 天井面材：鋼板塗装（メーカー標準色）
	正面壁	化粧鋼板
	側面壁	化粧鋼板
	袖壁	ステンレスヘアライン
	出入口上板	化粧鋼板
かご仕様	かご室戸	化粧鋼板
	巾木	アルミ製
	かご床	樹脂タイル2mm（メーカー標準タイル）
	かご室敷居	アルミ製 2枚戸両引き用
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤プレート	ステンレスヘアライン
	かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
	正操作盤インジケータータイプ	かご内液晶インジケーター（10.1インチ）
	かご操作盤液晶インジケーター表示言語	平常時（日英）、注意喚起（日英/中韓切替）、緊急時（日英中韓）
	車いす専用かご操作盤	両側面 ステンレスヘアライン
	車いす専用正かご操作盤インジケータータイプ	ドットLED（橙色）
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
	かご室換気	脱臭機能付きウイルス抑制装置付きファン（ウイルス・菌・花粉抑制、脱臭、PM2.5集塵機能）
	かご室手すり	丸形ステンレス 二面取付（両側面） 抗ウイルス・抗菌仕様
	かご室鏡	ステンレス鏡面フルハイト（巾500）
その他仕様	壁保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで1895mm）
	床保護マット	あり
	挟まれ防止ドアセンサ	あり
	セーフティシュー	片側（多光軸ドアセンサー付き）
	自動戸閉促進・乗場前検知挟まれ防止	あり
	遮煙機能	大臣認定品 2枚戸両引き用（1-4階）
	点字名板取付方法	接着
	おもり非常止め	なし
	火災時管制運転方式	火報信号連動式
	冠水時管制運転	あり
	インターホン型式	6V1局
	乗場インターホンボックスタイプ	鋼板塗装（埋め込み形）
	かご内アナウンス	かご内4ヵ国語アナウンス（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	かご室音響	かご室スピーカー
	動力電源下部受電	あり
その他仕様	フェッシャープレート	エレベーター手配（標準品）（2-4階）
	レール支持方式	1フロア1ブラケット
	煙感知器点検ロスイッチ	正面側上部取付 【標準】
	仮設動力電源	1式
その他仕様	遠隔監視機能	あり（保守契約が必要となります） (NANVO4235)

No. 01号機

除外工事事項

建築工事関係

- 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事
（昇降路壁は5cm² 辺り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること）
- 鉄骨構造階のファスナー、立柱及び中間ビーム（必要の場合）並びにシキイ受材の設置工事
- 鉄骨構造階の三方枠、インジケータ、押ボタン、ハンガーケース等の取付用鋼材設置工事
- 鉄骨構造階の敷居取付材設置工事（敷居への作用荷重に對して、たわみは1mm以下となる部材を設置すること）
- 鉄骨構造階の昇降路における鉄骨材の耐火処理工事および乗場出入口廻りの耐火処理工事
- 各階乗場出入口枠周囲のロックウール詰め工事
- 乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
- 昇降路頂部にエレベーター機器揚重用のフック又はビームの設置工事（kN）/台
- 通過階がある場合の非常救出口設置工事（かご敷居先端から125mm以下）
- ビット内防水仕上工事（必要の時は、排水設備工事含む）
- ビット床下部使用の場合の建築対策工事
- ビットが深い場合の埋め戻し・浅い場合はつり工事
- 段違いビット時のビット内保護柵工事（必要の場合）
- 昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しないレイアウトおよび各種防音・防振工事
※居室への影響を検討のうえ、適切な防音・防振対策を行ってください
（対策例1）昇降路の壁（RC）を厚くする
※（200mm以上推奨）
（対策例2）隣接居室内のボードや天井を、昇降路壁（RC）に直接接しない工法とする
（対策例3）隣接居室内のボードに制振材（鉛板）、吸音材を貼付けする
- その他建築に関する工事

設備工事関係

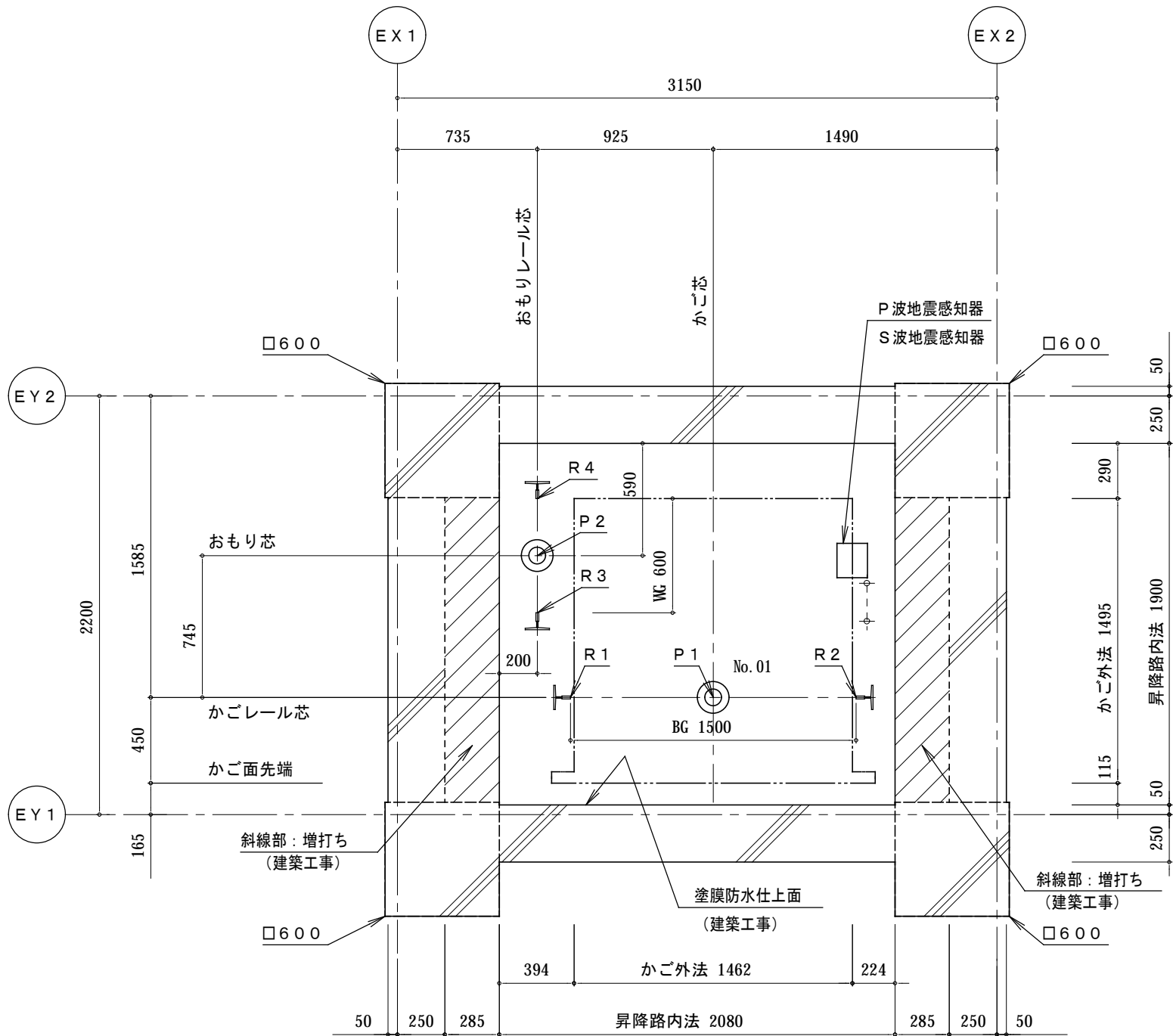
- 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事（緊ぎ込み工事含む）
- インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事（0.9φ×10本）/台
- 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
- 遮煙ドアご採用の場合、遮煙ドア設置階乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
- エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事（昇降路内から最寄の電話中継盤まで）
- 建設設備連動に必要な接点供給工事
- ビット内点検用コンセント設備工事
（照明用AC100Vとは別系統のこと）
- 昇降路頂部の煙感知器設備工事（外部より点検可能なこと）
平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検口の戸は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある
- かご内TVカメラがある場合、かご内TVカメラ用配管配線工事（昇降路からモニター設置場所まで）
5G-2V同軸ケーブル
- かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事
（非常放送がある場合3線式とすること）
- 昇降路の換気設備工事（昇降路内温度40℃および昇降路温度±昇7℃を超える場合、換気設備が必要になります）
発熱量 エレベーター駆動部（1100W/1台）
+エアコン（W/1台）
- 監視盤電源の監視盤までの引込工事及び配管配線工事

工 事 名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	エレベーター詳細図（１）		
縮 尺	－	番 号	24 枚の内 M-017 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 2 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

注意事項

- 昇降路間口・奥行寸法は、昇降路全域（ピット底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
- コンクリート強度は 21N/mm^2 以上のこと
- 電源電圧の変動は $\pm 5\% \sim 10\%$ 以内、電圧不平衡率 5% 以内のこと
- 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件とすること
 - 昇降路内の温度は $-5^{\circ}\text{C} \sim 40^{\circ}\text{C}$ 以内、湿度は月平均 90% ・日平均 95% 未満かつ急激な温度変化等により氷結・結露しないこと
 - 金属を損耗または腐食したり電気接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガス及び爆発性ガスのないこと
 - 腐食性ガス：硫化水素ガス、亜硫酸ガス、塩素ガス、過酸化窒素ガス、アンモニアガスおよび海岸地区における潮風
※昇降路標準環境の基準例
硫化水素ガス… $\text{H}_2\text{S}=0.005\text{ [ppm]}$ 以下
亜硫酸ガス… $\text{SO}_2=0.01\text{ [ppm]}$ 以下
塩化水素ガス… $\text{HCl}=0.05\text{ [ppm]}$ 以下
塩素ガス… $\text{Cl}_2=0.005\text{ [ppm]}$ 以下
アンモニアガス… $\text{NH}_3=0.1\text{ [ppm]}$ 以下
海岸地区における潮風…海岸より 2km 以上の地区（ブルサイドの場合は上記塩素ガス Cl_2 基準値以下）
※海岸より 2km 未満、ブルサイドの場合は昇降路内に潮風・ブル方向からの風が入らず、乗場が屋外に露出しないようなレイアウトすること
 - 電気接点の接触障害となるもの：鉄粉、炭塵、化学工場における粉塵
 - 爆発性ガス、又は、粉塵：メタン、石炭ガス、ブタン、ガソリン、アセチレン、水素、エーテル、炭塵、穀粉
 - エレベーターの電気信号に影響を及ぼす電磁波がないこと
電磁波の電界強度が 10V/m 以下の環境とすること
 - 原則、昇降路の設置場所は標高 1000m 以下の高さとすること
- 屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備により外部から風雨が侵入しないこと
（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等）
 - センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため、屋外又は、屋内ガラス越しから乗場及び駆動・制御装置（制御盤、秤装置等）に直射日光が当たらない対策を実施のこと
- 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
- 昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないようにすること
（建築基準法施行令第129条の2の4第1項第三号）
- 遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること
- 輸送可能な適温配膳車や台車などの重量物は 250kg 以下とすること
- 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと

- エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を経由しないこと）
- エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備に影響を受ける恐れがあります
次の対策をお勧めします
 - エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を 1m 以上分離する
 - エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する
（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
 - エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする
- 乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工する必要があります。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
昇降路内は不燃材もしくは難燃材（平12建告1402号で定められた材料又は国土交通大臣の認定を受けたもの）とする必要があります
※法定のオーバーヘッド寸法確保やドア装置取付に支障が無いか、施工範囲と厚みを昇降機担当へ連絡し問題ないことを確認ください
- 乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行うこと。風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります
- 製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います
電動機（巻上機・駆動機）：JEC-2110、2130、JIS C-4034-1
制御盤：JEM021、1460
尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です
- かごの内装デザイン等が別途工事の場合、品質保証（変色、はがれ、劣化等の外観変化）対象外となります
また、昇降機保守対象外となります材質、構造等は以下を順守のこと
材質：不燃又は難燃認定品
構造：装飾品（鏡等含む）には、エレベーター非常止め作動時または緩衝器衝突時は 4G （縦方向）、地震時は 1G （横方向）相当の加速度が発生する可能性があるためそれに耐え、かつ接着固定による劣化を考慮した取付構造とすること
照度：かごの床面で 50ルクス （乗用、寝台用以外にあっては 25ルクス ）以上の照度とすること
建築用途と使用環境の違いにより、早期に寿命を迎えることがあります
・かご照明の自動休止機能により、照明のON/OFF回数が多い
・かごの昇降による振動がある



昇降路平面図 (1/30)

(ピット)

ブラケット取付のため、ピット内の壁または梁は最下階F.L面まで立ち上げて下さい（建築工事）

昇降路機器はピット底面・側面、梁・壁（コンクリートの場合）にあと施エアンカーにより取付を行います

ピット荷重（短期荷重）	
P 1 (kN)	P 2 (kN)
93.8	79.2

レール下端部荷重（長期荷重）			
R 1 (kN)	R 2 (kN)	R 3 (kN)	R 4 (kN)
5.9	25.9	46.1	22.3

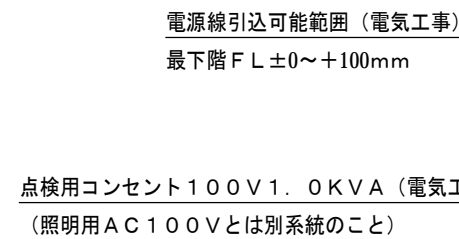
外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点

エレベーターかご内のインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。
管理人室等に設置する場合は、24時間管理人が常駐する必要がある。
（建築基準法施行令第129条の10第3項第三号）
もしも管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。
1. インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。
2. 管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。
3. 管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。
例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉館する。

乗場遮煙ドア設置上の条件

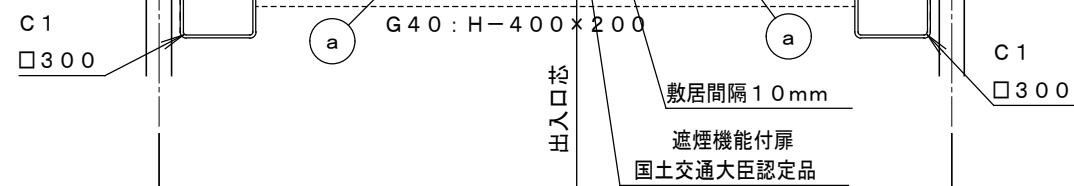
- 乗場遮煙ドアを設置するためには、自動火災報知設備の設置義務の無い建物であっても、同設備を設けること。
- 自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、乗場遮煙ドア設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器を設置し、火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給すること。
（無電圧a接点、接点電圧DC24V）

工事名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	エレベーター詳細図（2）		
縮 尺	1/30	番 号	24 枚の内 M-018 号
設 計 年 月 日	令和7年2月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

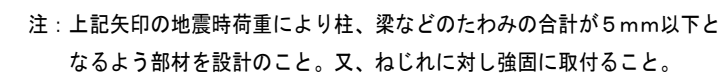


(1 階)

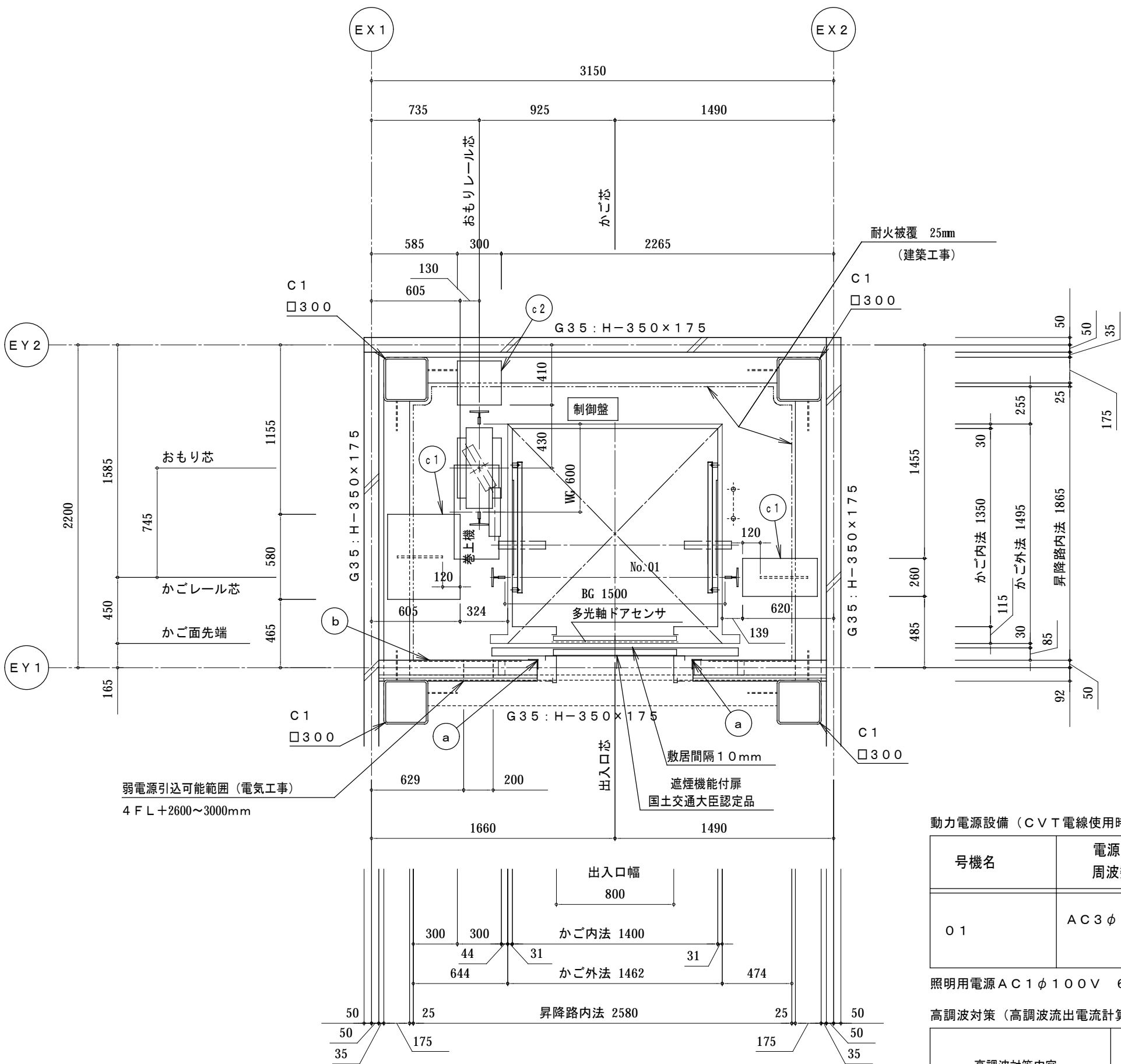
部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-65×65×6	建築工事
b	敷居取付材	L-100×100	建築工事
c 1	レールブラケット取付用ファスナー (リ付)	PL-t12	建築工事
c 2	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t12	建築工事



(2, 3階)



工事名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	エレベーター詳細図（3）		
縮 尺	1/30	番 号	24 枚の内 M-019 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 2 月		
設 計	(有) 斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



弱電源引込可能範囲（電気工事）
4 F L + 2600 ~ 3000mm

動力電源設備（C V T電線使用時）

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側N F容量	感度電流値 ^(*) 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
0 1	A C 3 φ 2 1 0 V 6 0 H z	5 . 1 k W	5 k V A	4 0 A T	1 0 0 m A以上 0 . 2 秒以上	3 7 m まで 8 m m ² 6 4 m まで 1 4 m m ² 9 8 m まで 2 2 m m ²	3 . 5 m m ²

照明用電源A C 1 φ 1 0 0 V 6 0 H z（設備容量1 k V A / 台 電源側N F容量2 0 A T / 台）

(*) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

高調波対策（高調波流出電流計算値）

高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P i (kVA)	回路分類 細分N o .	6 / パルス 換算係数 (K i)	6 / パルス等価 容量 [K i × P i] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率I n (%)							
									5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
○ ノイズフィルタのみ （標準）	0 1 号機	6.4	1	6.4	31	3.4	21.7	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
DCリアクトル追加 (Ki=1.8相当)	AXIEZ-LINKs(750kg-60m/mi n)				33	1.8	11.5	25	30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。
ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

各次数毎の高調波流出電流量 (mA) =
$$\frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$$

部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-65×65×6	建築工事
b	敷居取付材	L-100×100	建築工事
c 1	レールブラケット取付用ファスナー (リブ付)	P L-t 1 2	建築工事
c 2	レールブラケット取付用ファスナー	P L-t 1 2	建築工事

電源線引込み口（1 F L ± 0 ~ + 1 0 0 mm）

動力用A C 3 φ-2 1 0 V-6 0 H z

照明用A C 1 φ-1 0 0 V-6 0 H z

D種接地工事

電源線引出し長さ 1 2 0 0 0 mm

弱電線引込み口（4 F L + 2 6 0 0 ~ 3 0 0 0 mm）

・インターホン用配管配線工事

C P E V-0 . 9 × 5 P

・火災管制運転用配管配線工事

自火報より無電圧 a 接点支給

・遠隔監視用配管配線工事

P V C-0 . 6 5 × 4 C

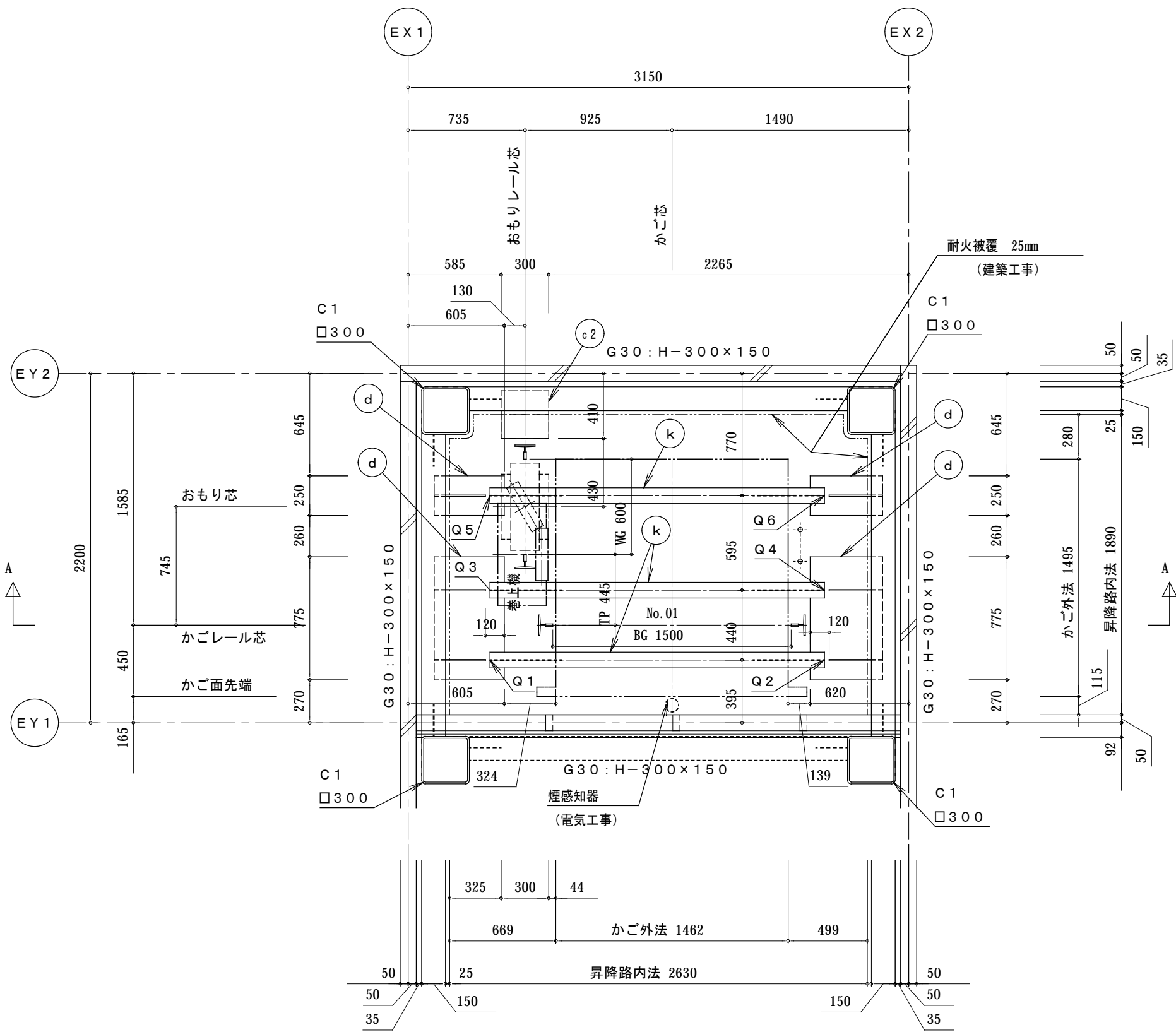
・かご上スピーカー用配管配線工事

H P 1 . 2 mm × 3 C

弱電線引出し長さ 1 5 0 0 0 mm

（電気工事）

工事名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	エレベーター詳細図（４）		
縮 尺	1/30	番 号	24 枚の内 M-020 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 2 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

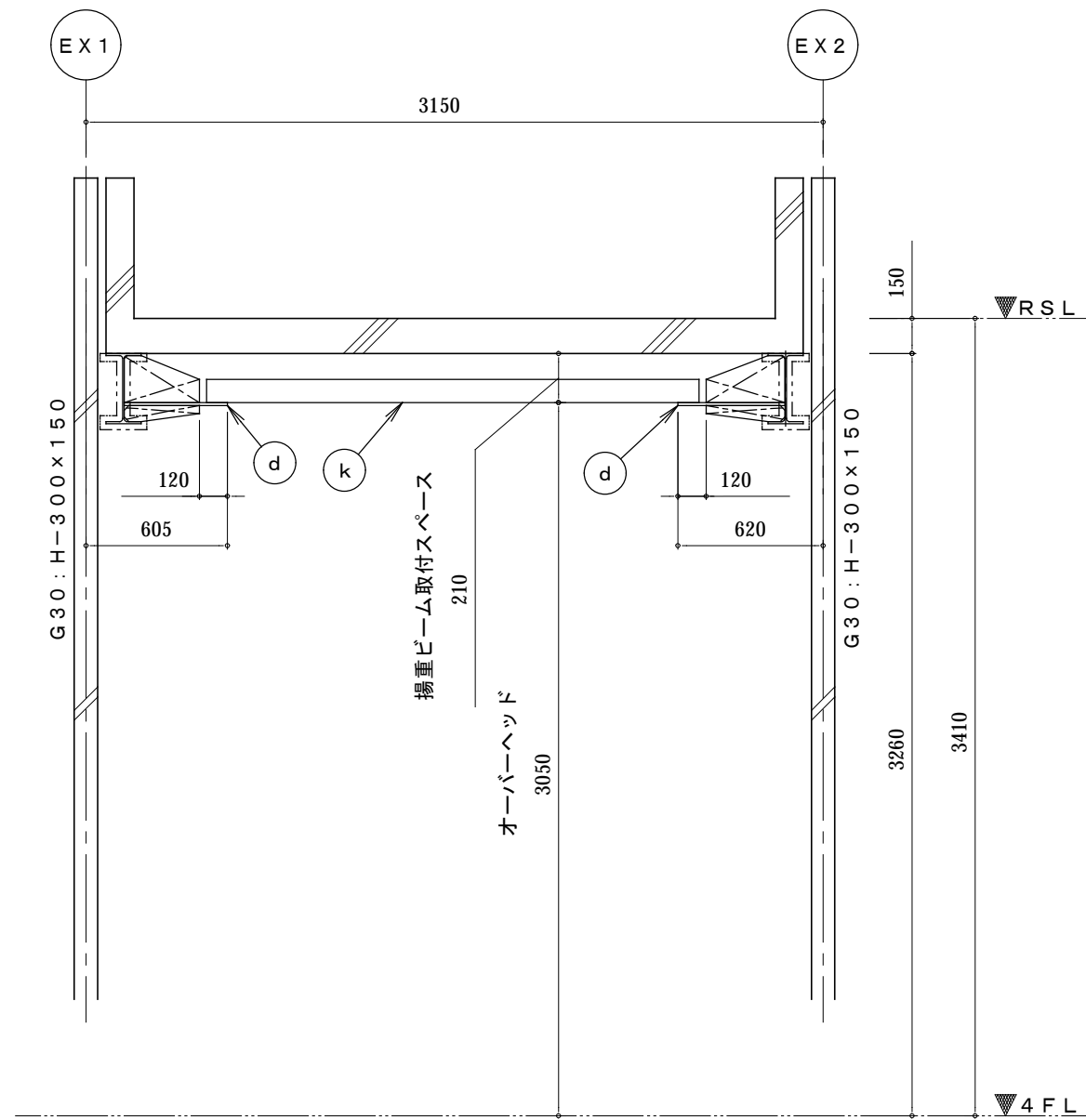


昇降路平面図 (1/30)
(頂部)

揚重ビームに掛かる荷重

Q 1 (kN)	Q 2 (kN)	Q 3 (kN)	Q 4 (kN)	Q 5 (kN)	Q 6 (kN)
6. 0	2. 0	8. 0	10. 0	16. 0	11. 0

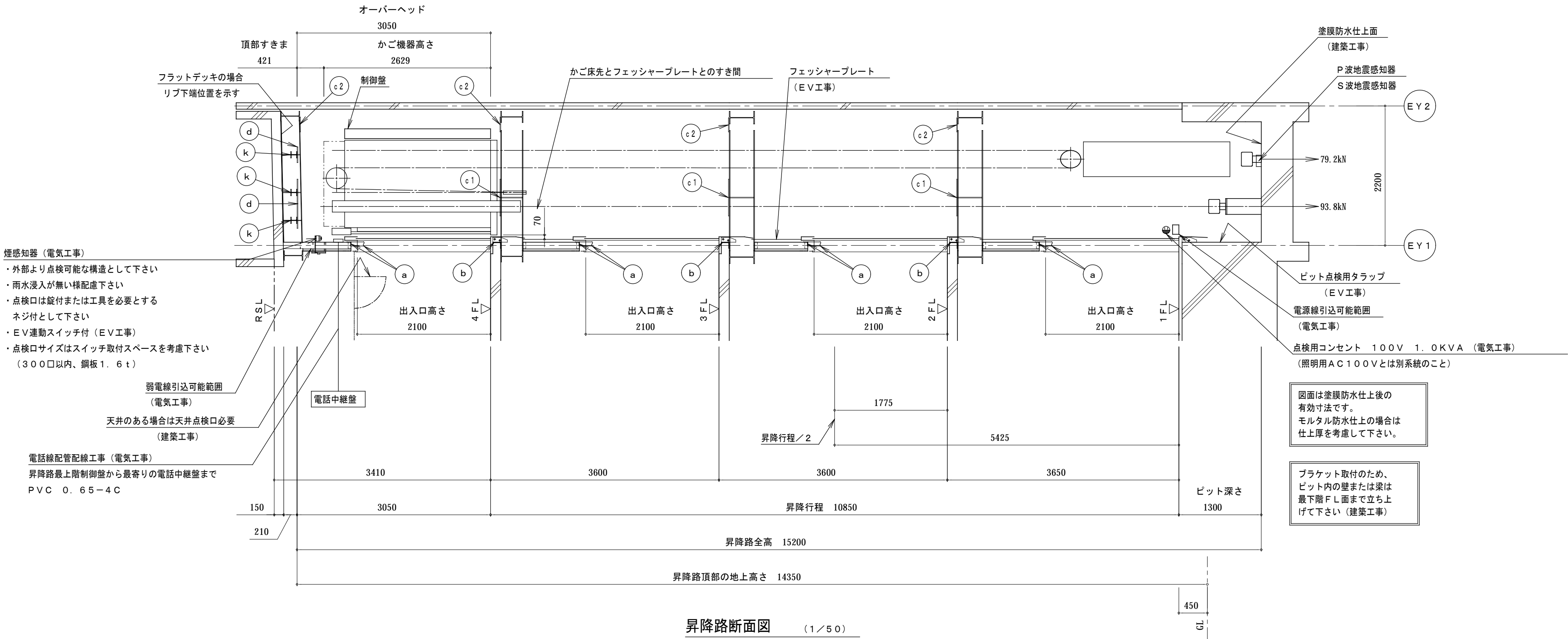
Q 1～Q 6はE V据付時に作用する



昇降路頂部断面図 (1/30)
断面A-A

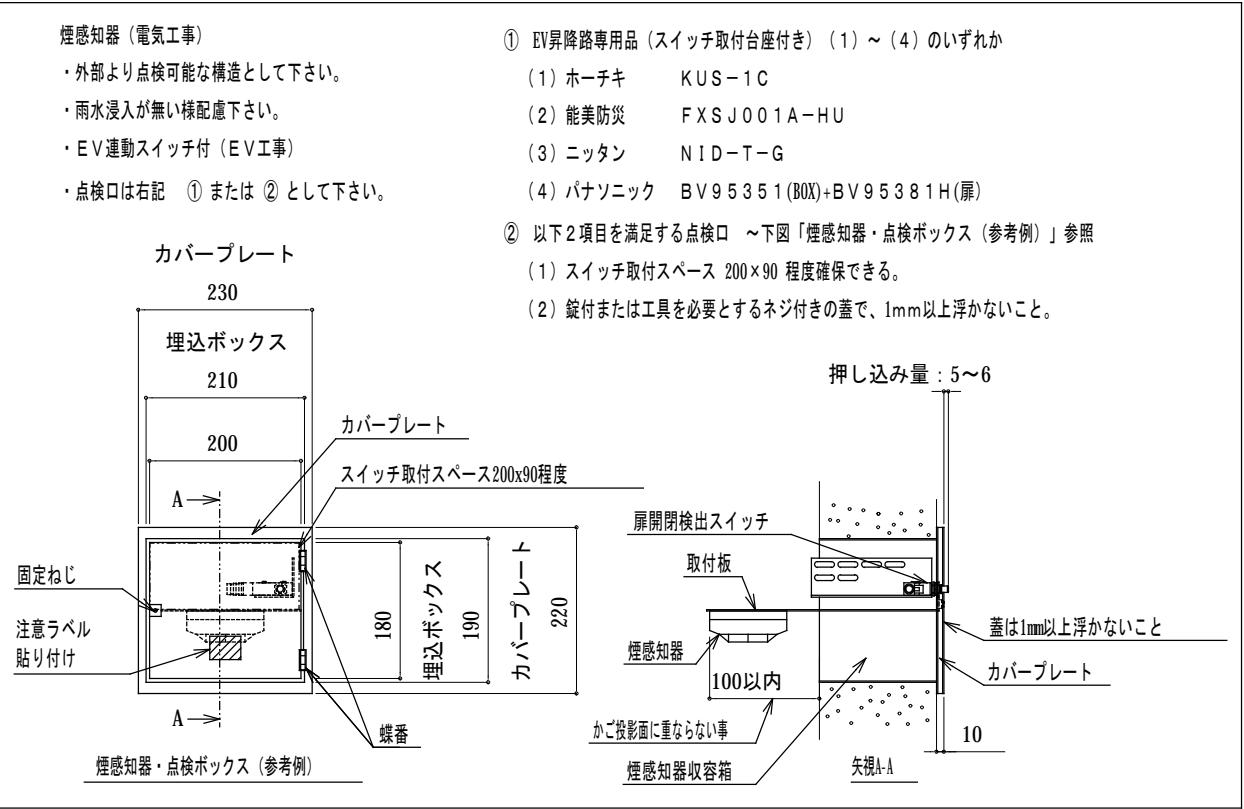
部材 記号	名 称	部 材	工事区分
c 2	レールブラケット取付用ファスナー	P L - t 1 2	建築工事
d	レールブラケット取付用ファスナー兼 揚重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	P L - t 1 2	建築工事
k	揚重ビーム	H - 1 0 0 × 1 0 0 × 6 × 8	建築工事

工事名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	エレベーター詳細図（5）		
縮 尺	1/30	番 号	24 枚の内 M-021 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 2 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



昇降路断面図 (1/50)

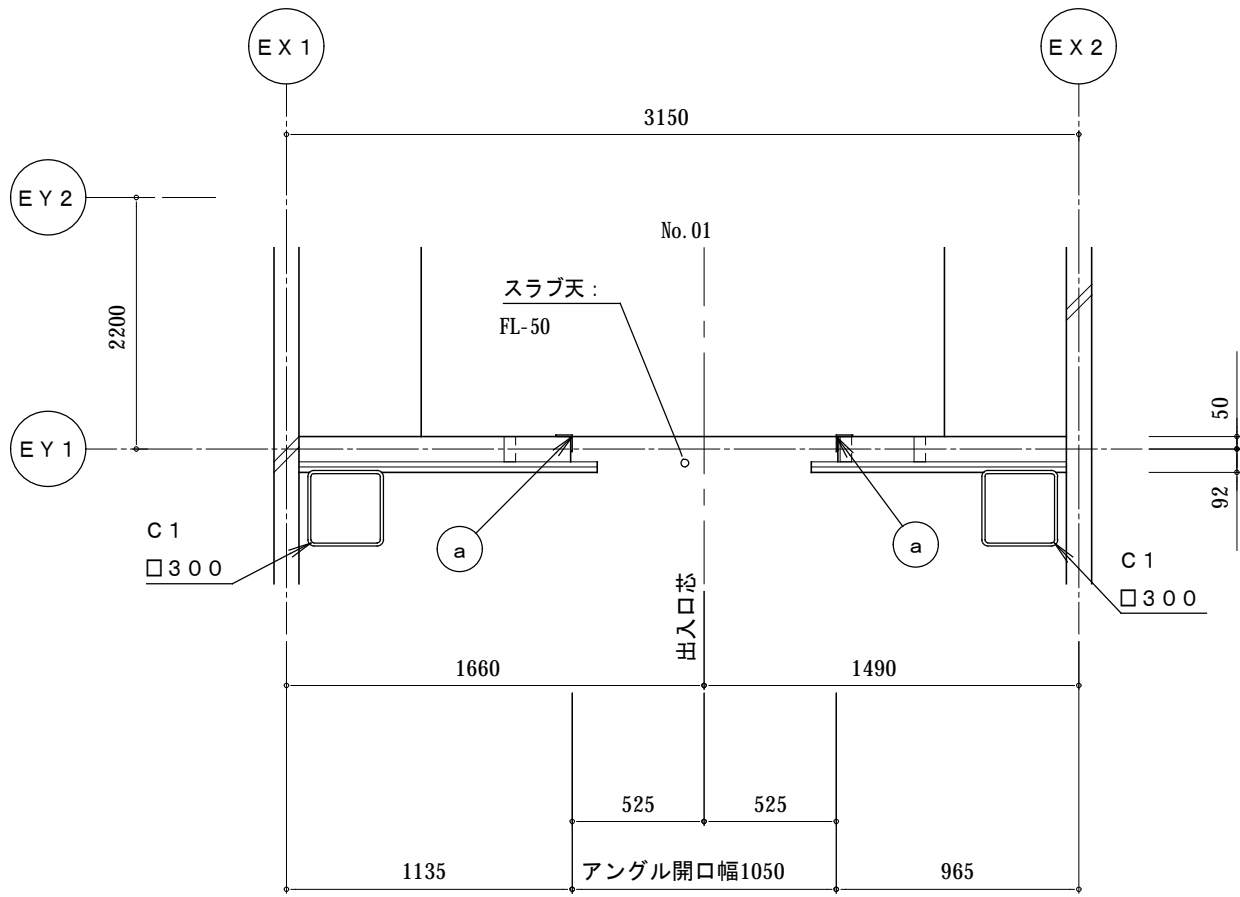
煙感知器施工例



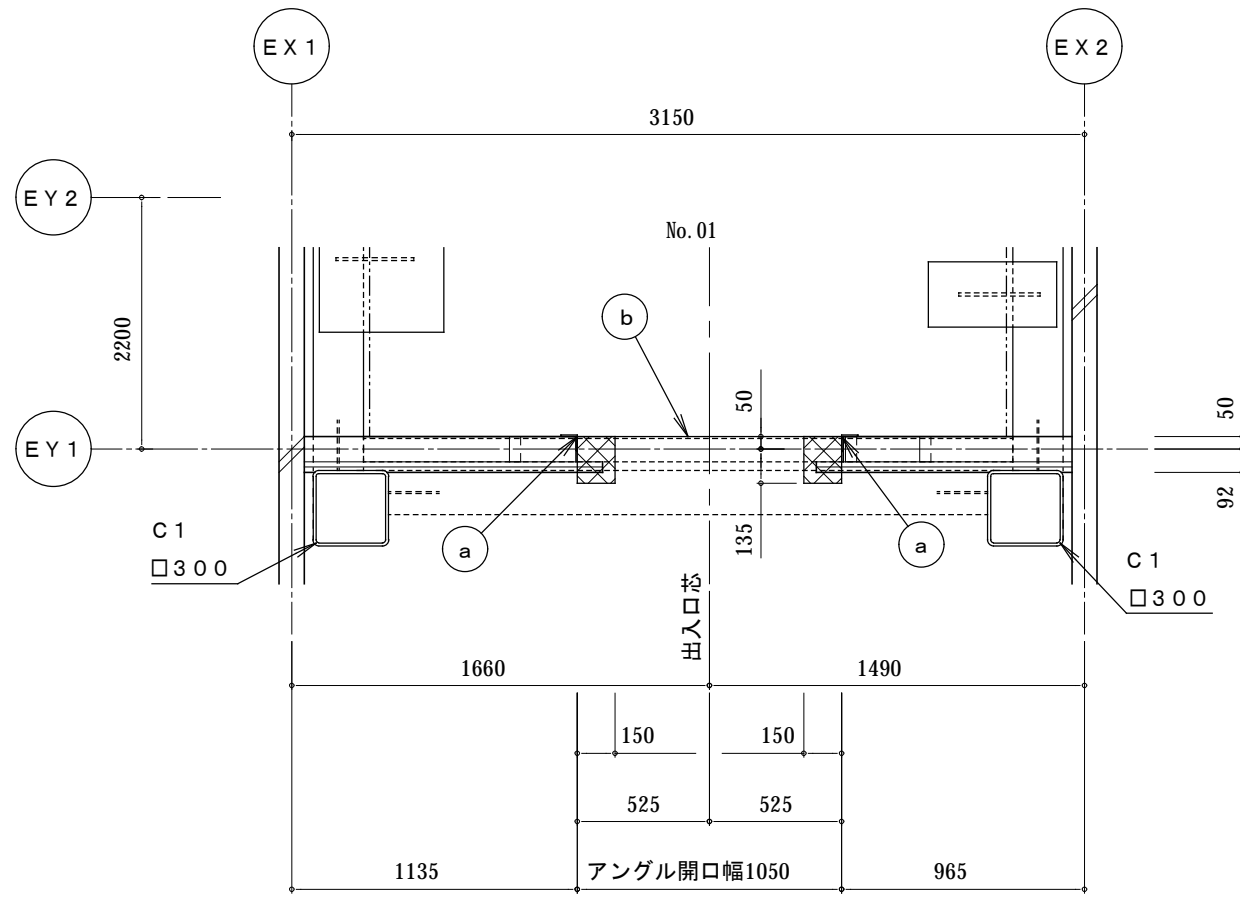
部材記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-65×65×6	建築工事
b	敷居取付材	L-100×100	建築工事
c1	レールブラケット取付用ファスナー (リブ付)	PL-t12	建築工事
c2	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t12	建築工事
d	レールブラケット取付用ファスナー兼 揚重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	PL-t12	建築工事
k	揚重ビーム	H-100×100×6×8	建築工事

工事名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	エレベーター詳細図（6）		
縮 尺	1/50	番 号	24 枚の内 M-022 号
設 計 年 月 日	令和7年2月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀 樹		
高 山 市			

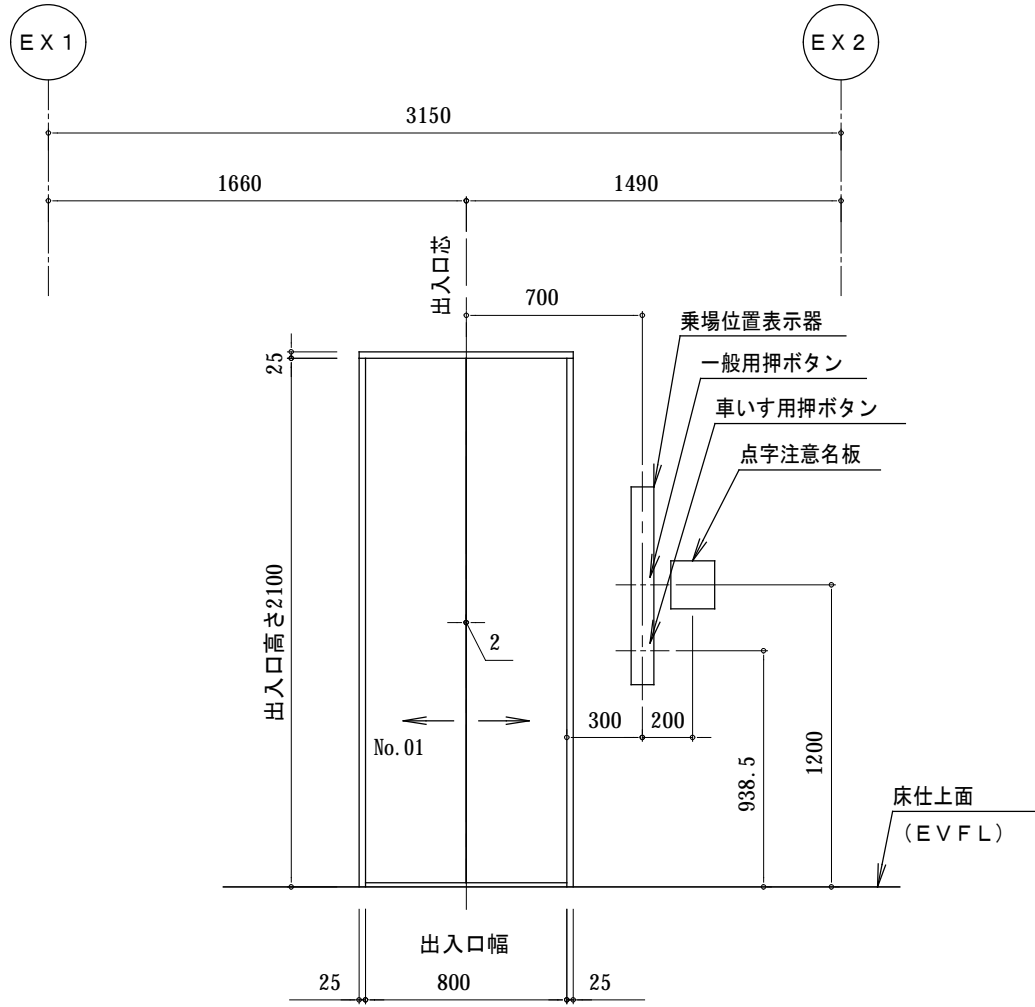
部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-65×65×6	建築工事
b	敷居取付材	L-100×100	建築工事



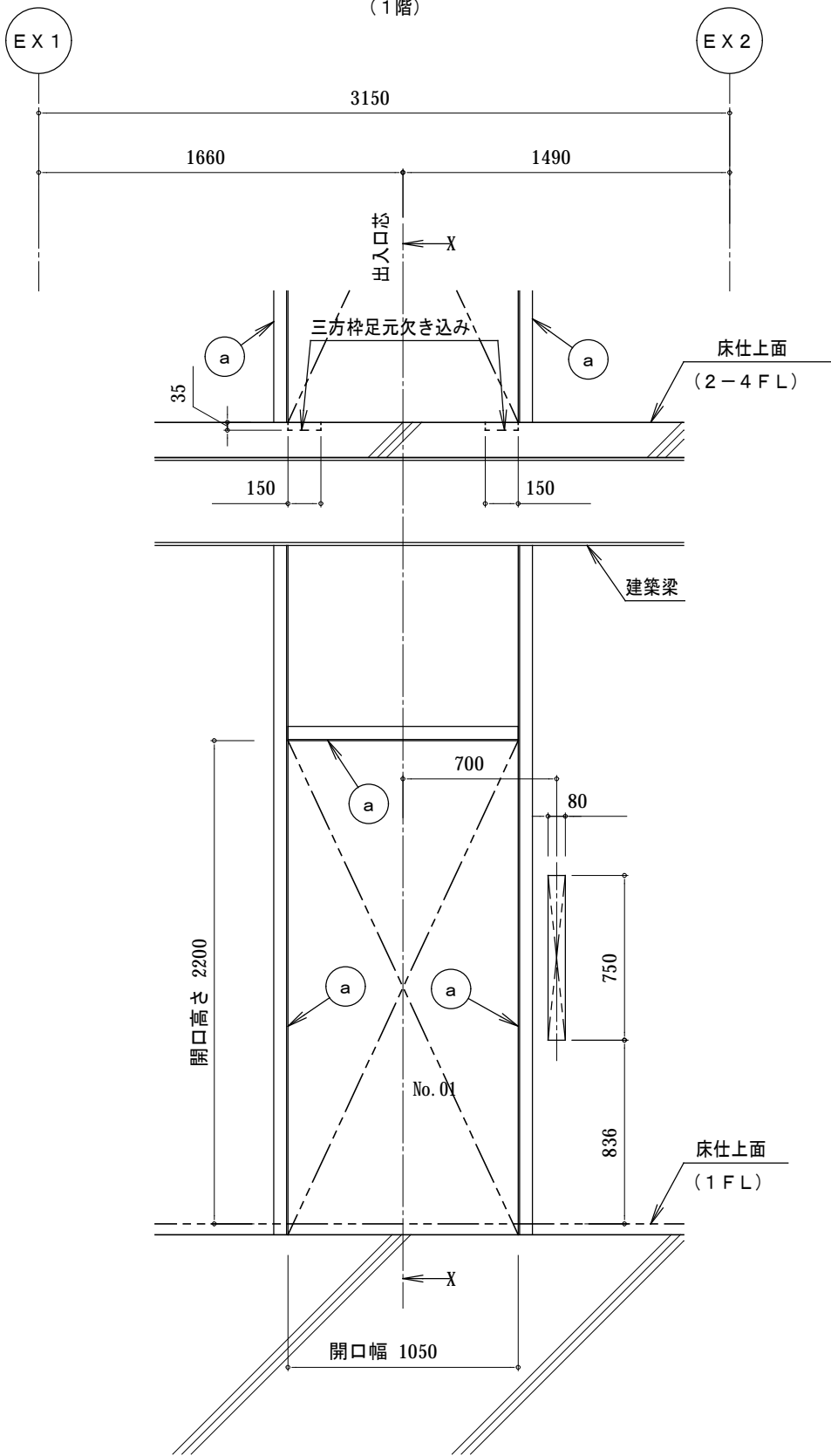
乗場平面穴あけ図 (1階) (1/30)



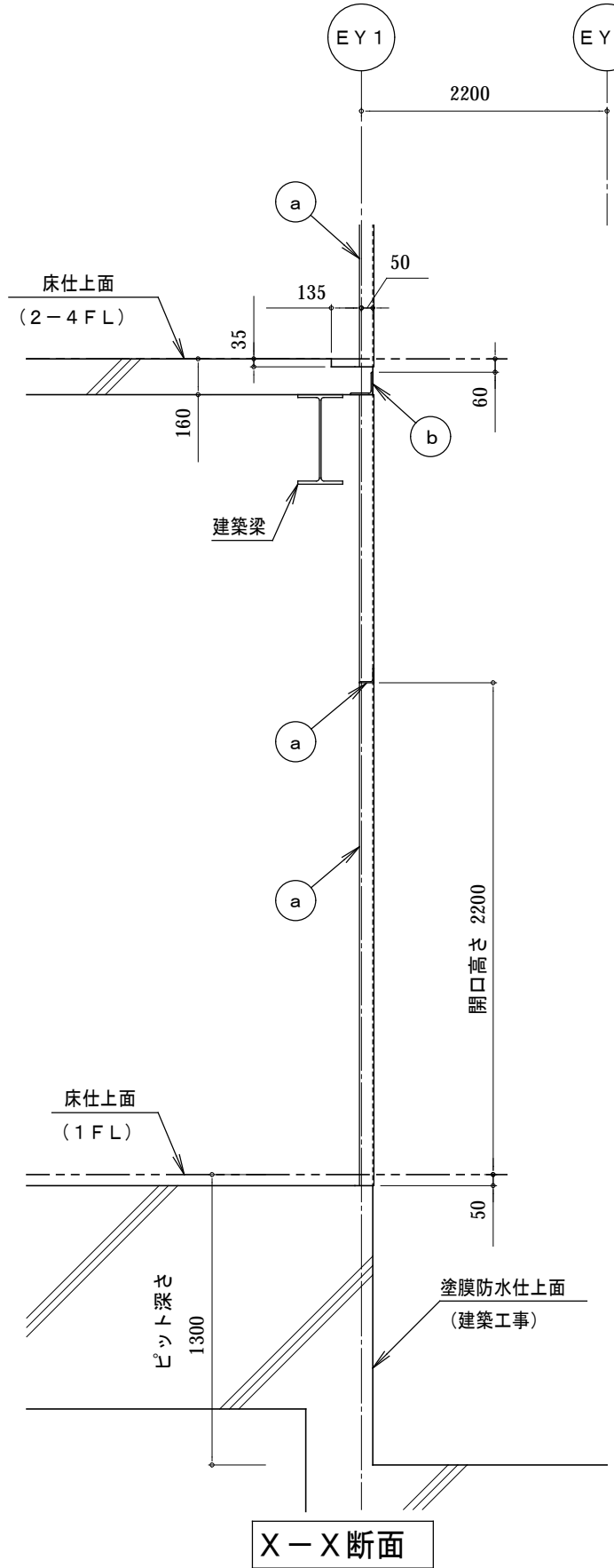
乗場平面穴あけ図 (2-4階) (1/30)



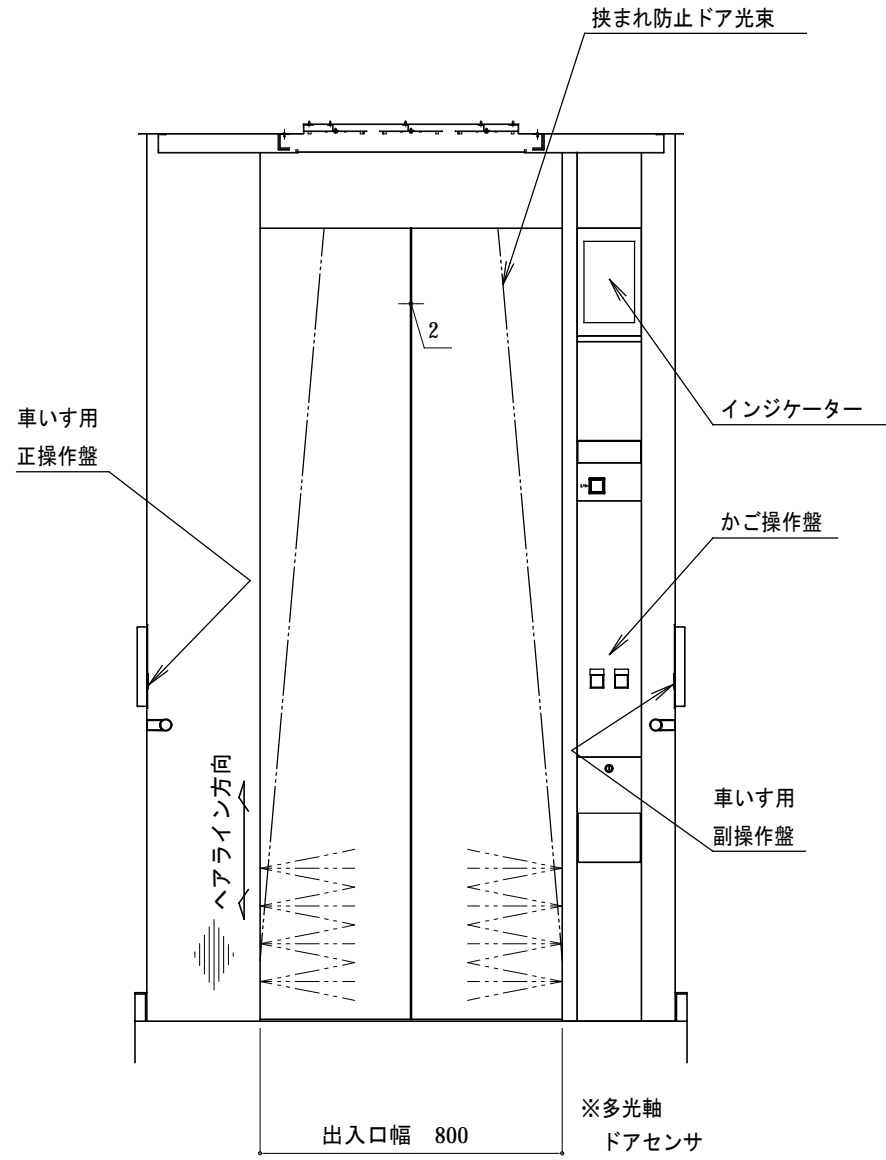
乗場正面図 (1-4階) (1/30)



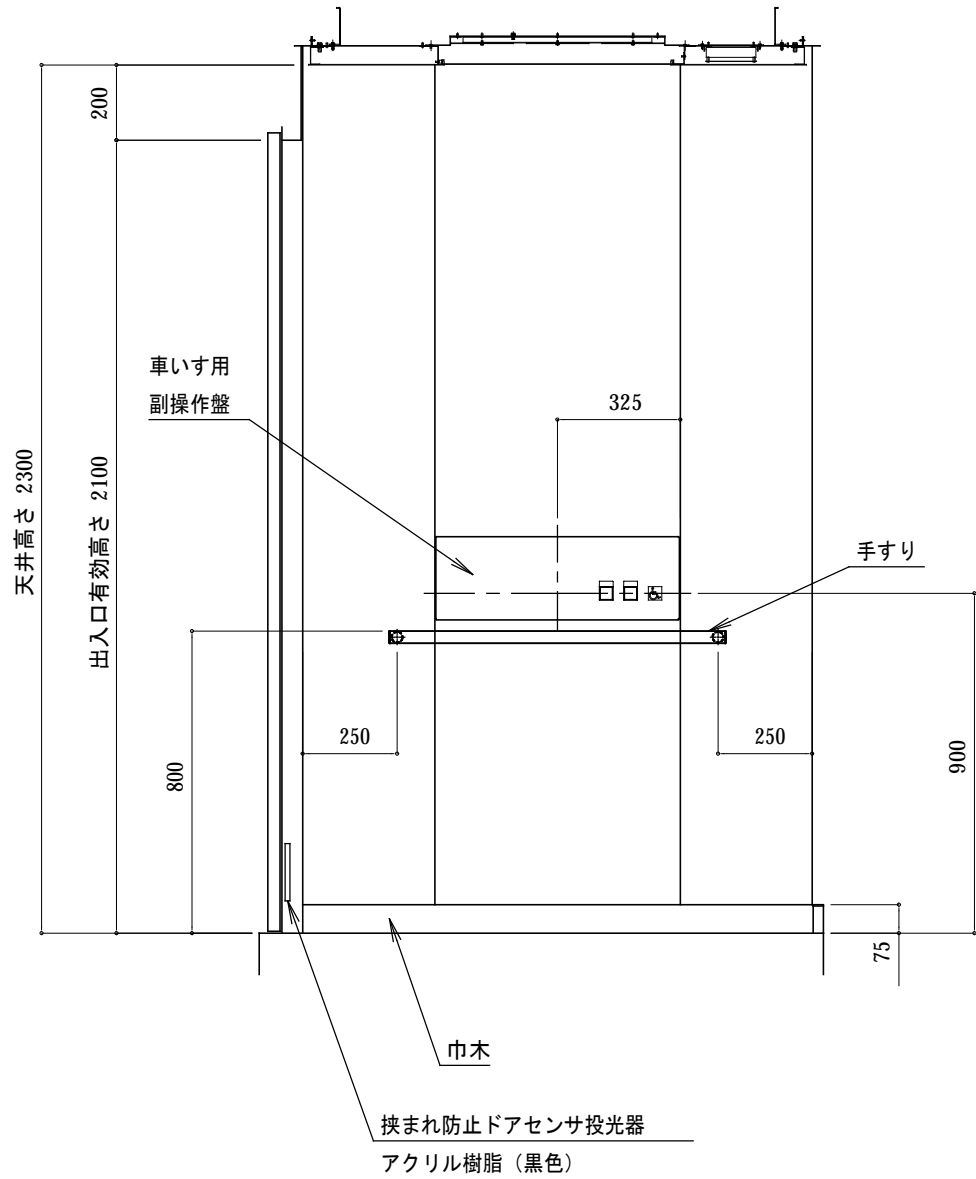
乗場穴あけ図 (1-4階) (1/30)



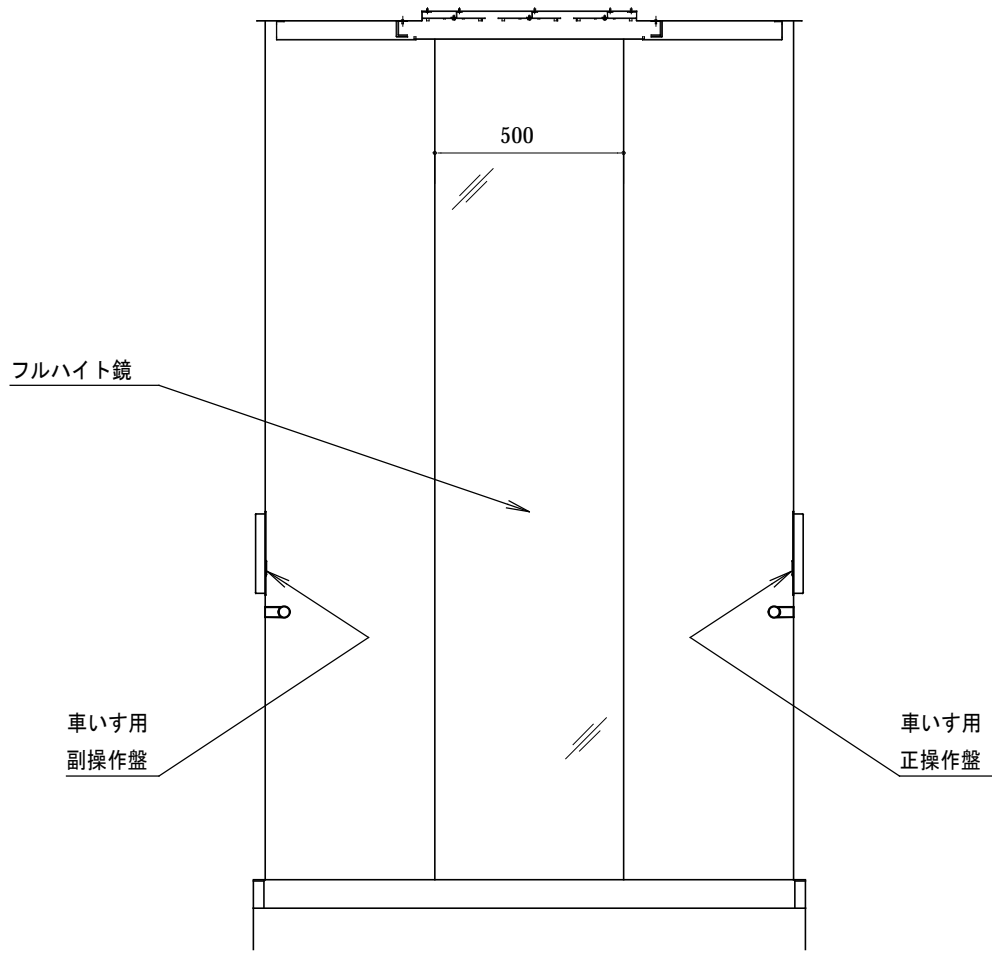
工事名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	エレベーター詳細図（7）		
縮 尺	－	番 号	24 枚の内 M-023 号
設 計 年 月 日	令和7年2月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀 樹		
高 山 市			



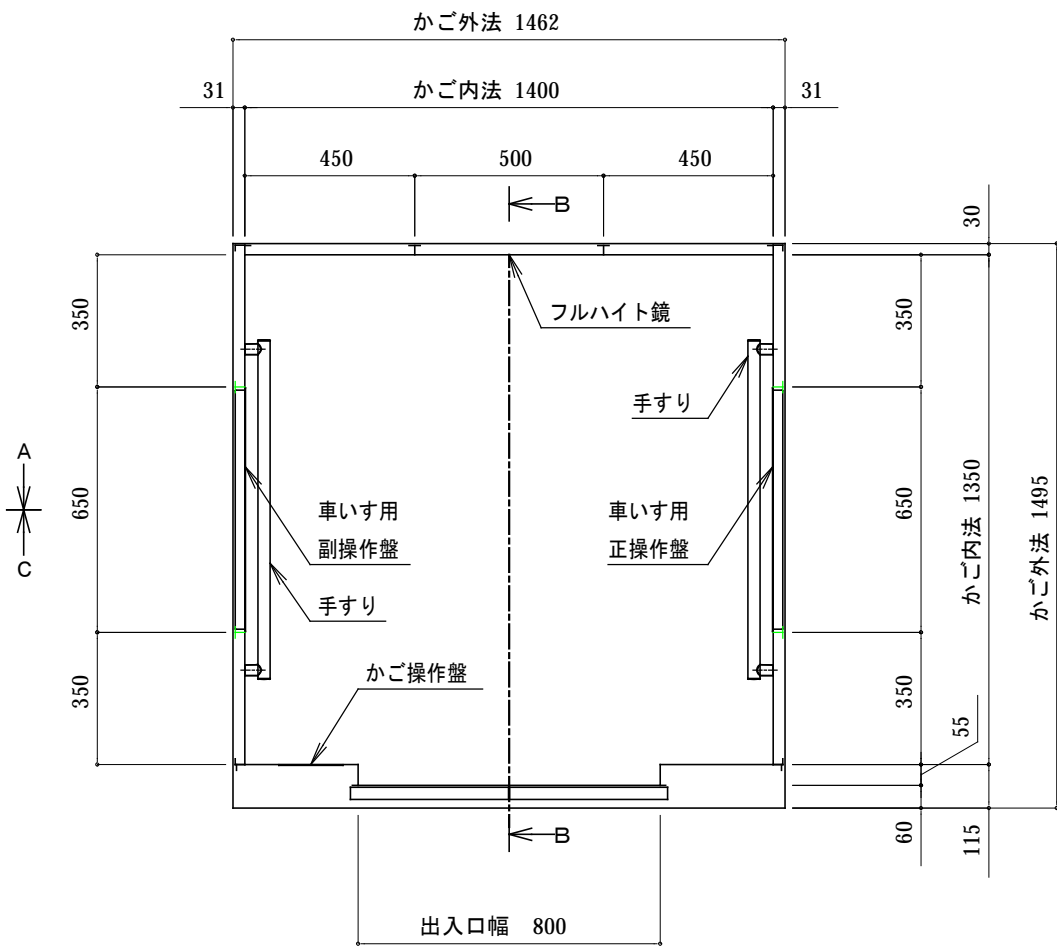
Uかご室正面図（矢視A－A）



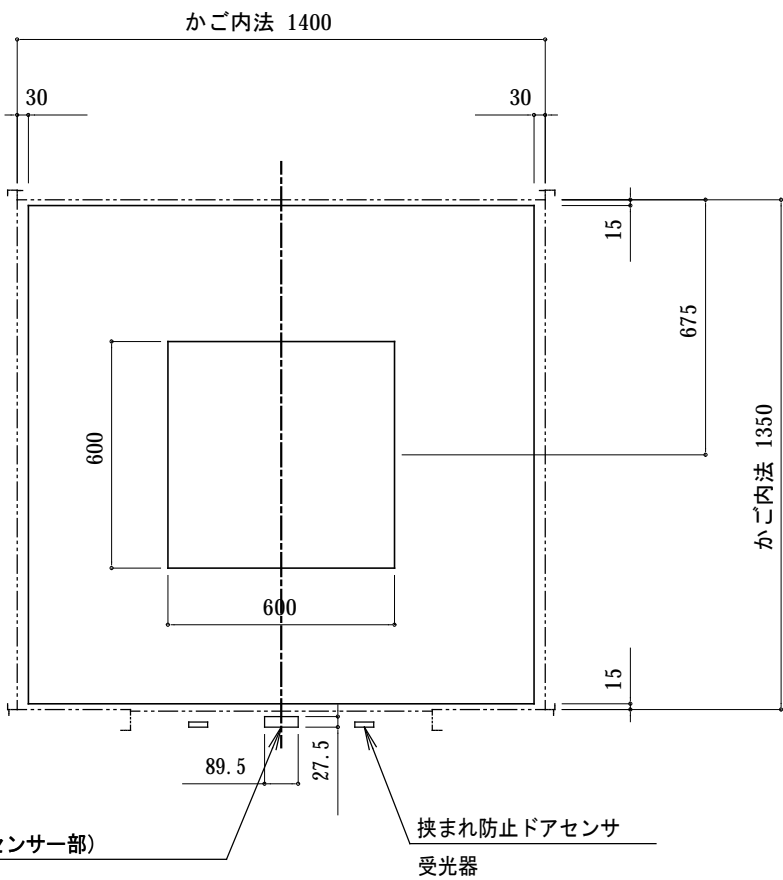
Uかご室側面図（矢視B－B）



Uかご室背面図（矢視C－C）



Uかご室平面図



U天井伏図

意匠仕様	
天井	鋼板塗装仕上
換気装置	D C 軸流ファン+ 脱臭機能付きウイルス抑制装置付きファン
照明	乳白色樹脂照明板 L E D 照明（白色）
停電灯	主照明兼用式
壁	化粧鋼板
出入口上板	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	アルミ製
床仕上部	樹脂タイル t 2
敷居	アルミ製
フルハイト鏡	ステンレス鏡面仕上 t 1. 5
手すり	ステンレスヘアライン仕上（φ 3 2） キャップ：樹脂（パールメッキ） （抗ウイルス・抗菌仕様）
ブラケット	アルミ ブラケットカバー：樹脂（パールメッキ）
保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで 1 8 9 5 mm）
床マット	あり

工 事 名	日枝中学校ELV棟増築工事（機械）		
図 名	エレベーター詳細図（8）		
縮 尺	1/20	番 号	24 枚の内 M-024 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 2 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			